

KENWOOD

ポータブルMDレコーダー

DMC-J7R

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は国内専用モデルですので、本機のACアダプターを外国で使用することはできません。

Precaution for use

This unit is designed for domestic use only, and it is very dangerous to use the attached AC adaptor abroad. Never use it out of Japan.

株式会社 ケンウッド

KENWOOD CORPORATION



電源について

本機の外部電源は、付属のACアダプター、乾電池ケース、および別売の専用カーバッテリーアダプター以外は使用しないでください。



お使いになる前に

おもな特長	4
付属品	4
安全に正しくお使いいただくために	5
電源について	10
●充電電池で使う	10
●乾電池で使う	11
●ACアダプターで使う	11



MDに録音してみよう

録音する前に知っておいていただきたいこと	12
●デジタル録音とアナログ録音の違いについて	12
付属のケーブルを使って録音する	14
●CDやMDから録音する(シンクロ録音)	14
●チューナーやCDから録音する(マニュアル録音)	16
別売のデジタルケーブルを使って録音する	17
マイクから録音する	18
●マイクシンクロ録音	18
●マイクマニュアル録音	19
マイク録音中につくマークの間隔を変える	20
録音できる時間を確かめる	21
モノラルで長時間録音する	21
録音中に曲番をつける	22
ひと続きの曲として録音する	22
録音部分の途中から録音する	23
1曲ずつ曲を消す	24
すべての曲を消す	25
曲番について	26
TOCについて	27



MDを聞いてみよう

基本的な再生のしかた	28
再生中に曲の頭出しをする	30
聞きたい曲から聞く	30

再生中に聞きたい場所を探す	31
ランダム再生、リピート再生をする	31
経過時間、残り時間を表示する	32
録音残り時間、総再生時間を表示する	32
2倍速早聞き再生する	33



オリジナルディスクを作ろう

MD 編集機能でできること	34
曲を移動する	35
1つの曲を分ける	36
連続した2つの曲をつなぐ	37
ディスク名をつける	38
曲名をつける	40
ディスク名や曲名を修正する	41
文字情報を丸ごとスタンプする	42



こんなときは

他の機器と接続して使う	44
電池残量を確認する	45
誤って動作するのを防ぐ	45
ボタンを押したときの確認音を消す	46
表示部のバックライトを消す	46
オートプレイを解除する	47
オートパワーセーブを解除する	47



参考にしてください

MD について	48
充電電池について	48
「故障」かな?と思ったら	49
MD のシステム上の制約	51
デジタルコピーに関するご注意	52
こんな表示がでたときは	52
お手入れについて	54
音楽著作権について	54
仕様	55
別売品について	56
保証とアフターサービス	57
各部のなまえ	60
さくいん	62

おもな特長

★スロットインローディング

MDの出し入れがワンタッチでできる、簡単操作のメカニズムを採用しました。また、MDを入れると、自動的に再生をはじめます。(オートプレイ) P.28

★MD編集

曲の並び換えなどが簡単に行えます。曲名などもカタカナ表示。オリジナルディスク作りが楽しみになります。 P.34

★モノラル長時間録音

録音時間が2倍になるモノラル長時間録音モードを搭載。会議や講演会などの録音に便利です。 P.21

★2倍速早聞き再生

モノラル長時間モードで録音されたディスクなら、通常の2倍の速さで聞くことができます。 P.33

★CD/マイクサウンドシンクロ録音

CDの再生/停止に合わせ、自動的に録音/一時停止。CDからの録音に便利です。 P.14

また、マイク録音のときに、音や声の大きさに反応して自動的に録音/一時停止します。 P.18

★サンプリングレートコンバーター内蔵

CS/BSチューナーやDATデッキなどから直接デジタルで高音質録音ができます。

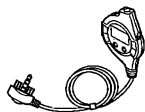
★MD丸ごと文字スタンプ

一度編集したMDから別のMDに録音するときは、ディスク名や曲番などの文字情報をスタンプすることができます。 P.42

★小型・長時間使用

コンパクトサイズで長時間使用を実現。自宅でも外出先でも、手軽に高音質の音楽が楽しめます。

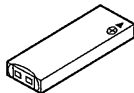
付属品



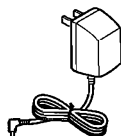
液晶リモコン×1



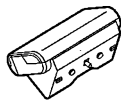
ヘッドホン×1



充電電池×1



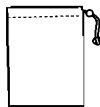
ACアダプター×1



乾電池ケース×1



接続コード×1



キャリングケース×1

取扱説明書×1

保証書×1

●カタログおよび包装箱に表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。色は異なっても操作方法や仕様は同じです。

●この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

ご使用前に

■絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

■絵表示の意味



記号は

.....
してはいけない
ことを表しています。



記号は

.....
しなければならない
ことを表しています。



記号は

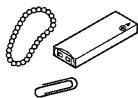
.....
気をつける必要がある
ことを表しています。

⚠ 危険

充電電池の取り扱いについて

漏液・発熱・発火・破裂などを避けるため、必ず次のことを守ってください。

火の中へ入れない。
ショートさせたり、
分解・加熱しない。



ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、ショートすることがあります。

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付しない。

充電電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけない。

充電するときは、本体以外は使用しない。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・放置しない。

付属の充電電池は、本機以外には使用しない。

充電電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。

警告

事故防止のために

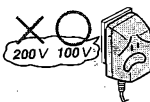
自動車や自転車などの乗物を運転するときは、ヘッドホンを絶対にお使いにならないでください。事故の原因となります。



歩行中に周囲の音が聞こえなくなるまで、音量を上げすぎないでください。事故の原因となります。特に、踏切や横断歩道などでは十分気をつけてください。

指定以外の電圧では使用しない

ACアダプターは、AC 100V以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



付属以外のACアダプターは使用しない

付属以外のACアダプターを使用すると、火災・事故の原因となります。



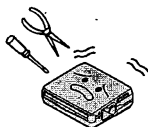
指定以外のものは使わない

指定以外のACアダプターやカーバッテリーアダプターなどを使用すると、火災・事故の原因となります。



キャビネットは絶対に開けない

分解・改造はしないでください。火災・感電・けがの原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。



充電池の取り扱いについて

充電の際に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。発熱・破裂・発火の原因となります。

充電池が漏液したり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。



漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

充電池の使用中和充電中、保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色・変形など、その他今までと異なることに気がついたときには、本体から取り出し、使用しないでください。

内部に物や水などを入れない

MDの挿入口などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込まないでください。

火災・感電の原因となります。



風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。



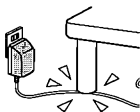
万一、内部に水や異物などが入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜き、充電池などをはずして販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



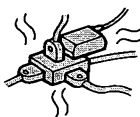
警告

ACアダプターの取り扱いについて

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりすると、コードが破損し、火災・感電の原因となります。

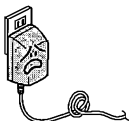


タコ足配線はしないでください。発熱により、火災の原因となります。



コードが傷ついたときは（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

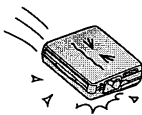


持ち運ぶとき

落としたり、衝撃を与えないようにしてください。

万一、落としたり、キャビネットを破損した場合は、充電池などをはずして販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら

安全のため、早めにACアダプターをコンセントから抜いてください。

雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。



故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACアダプター、充電池などが破損した場合は、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

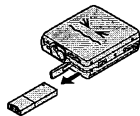
そのまま使用すると、火災・感電・やけどの原因となります。（特に充電池フタが破損したり、はずれた場合、フタをつけずに使用しないでください。）



異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするときなどは、ACアダプターをコンセントから抜き、充電池などをはずしてから販売店に修理を依頼してください。

異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。



⚠ 注意

ACアダプターの取り扱いについて

ACアダプターを抜くときは、コードを引っばらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



コードを熱器具に近づけないでください。

コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。



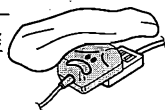
コンセントへの差し込みがゆるくぐらついたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止してください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

風通しの悪い場所では使用しない

布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。

熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。



音量に気をつけて

ヘッドホンで聞くとときは、音量の設定に十分気をつけてください。思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

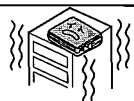


置き場所・使用場所について

次のような所で使用したり、放置しないでください。

火災・事故・けが・故障などの原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所。
(不安定な所)



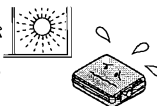
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような所。

極端に寒い所や火気の近く。



直射日光が長時間あたる所 (特に密閉した自動車内) や、暖房器具の近く。

(キャビネットが変形・変色することがあります。)



ホコリの多い所、および海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所。



本体に長時間触れない

使用中はあたたかくなりますので、直接肌に触れたままで長時間使用しないでください。やけどの原因となることがあります。



お手入れのときは

安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いてください。感電やけがの原因となることがあります。



⚠ 注意

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。

新しい乾電池と一度使用した乾電池や種類のちがう乾電池を混ぜて使用しない。

充電式でない乾電池は、充電しない。

金属小物（かぎ・装飾品ネックレス・コイン等）と
いっしょにポケット
やかばんなどに
入れない。



水に濡らしたり、加熱したり、火の中へは投げ込まない。

分解したり、ハンダ付しない。

端子をショート（短絡）させない。

乾電池が使えなくなったり、長期間使わないときは、取り出しておく。（もし、液がもれた場合は、乾電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。）

プラス（+）とマイナス（-）の向きを表示どおり正しく入れる。

充電電池の取り扱いについて

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
発熱・破裂・発火の原因となることがあります。

充電電池を直射日光の強い所や炎天下の車内など、高温の場所で使用したり、放置しないでください。
発熱・発火・充電電池の性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

水や海水などにつけたり、濡らさないでください。
電池の破損や性能・寿命を低下させる原因となることがあります。

充電電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

充電電池の充電温度範囲は、5℃～35℃です。

この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、充電電池の性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

安全のため、必ずACアダプターをコンセントから抜き、充電電池などははずしてください。

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのケンウッド営業所、サービスセンターまでご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

電源について

この製品は、充電電池、ACアダプター、乾電池（市販アルカリ乾電池）、カーバッテリーアダプター（別売）の4種類の電源で使用することができます。

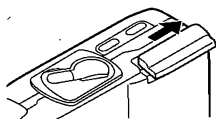
充電電池で使う

ご購入時、充電電池は完全に充電されていません。次の手順で充電してください。

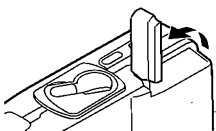
- 本体の電源が切れた状態にしておきます。（P.15）
- 乾電池ケースは取り付けないでください。

1 充電電池を入れる。

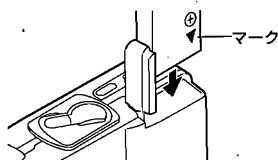
- ① 押しながら矢印の方向にずらす。



- ② ふたを開ける。



- ③ 充電電池を、▼マークが下になるようにして入れ、ふたを閉める。



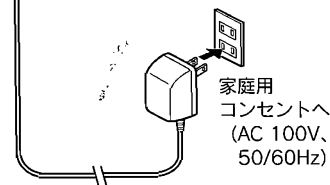
- 充電電池のふたを開けるときの、無理に開けすぎないでください。

2 ACアダプターをつなぐ。



最後まで確実に差し込む。

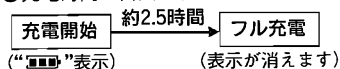
DC IN 5V端子へ



家庭用コンセントへ
(AC 100V、50/60Hz)

3 ■(OFF) ボタンを2回押す。

- “”表示が点滅し、充電が始まります。
- 充電時間の目安は次のとおりです。



- 充電の途中、ACアダプターを本体からはずしたり、コンセントから抜いたときは、“”表示が約1分間消えませんが、故障ではありません。

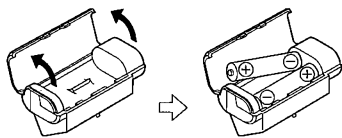
乾電池で使う

充電電池と併用すると、より一層の長時間再生が可能です。

- 乾電池は市販のアルカリ乾電池（LR6 単3形2本）を使用してください。

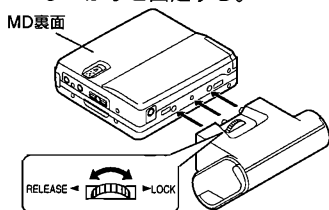
1 乾電池を乾電池ケースに入れる。

- ① ケースのふたを開ける。
- ② 内部の表示にしたがって、 \oplus と \ominus をまちがえないように乾電池を入れ、ふたを閉める。



2 乾電池ケースを本体に取り付ける。

- ① 本体の凹部と乾電池ケースの凸部を合わせる。
- ② ねじを「LOCK」の方向に回してしっかりと固定する。



連続再生時間について

55ページの「仕様」の“電池持続時間”をごらんください。

使用環境温度について

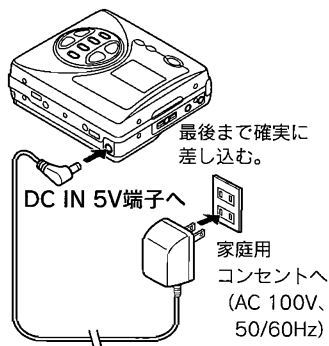
この製品は、0℃～40℃の場所でお使いください。

ACアダプターで使う

家庭用電源（AC100V）で使用することができます。

- このとき、充電電池を入れていても充電されません。

1 ACアダプターをつなぐ。



ご注意

- 充電電池と乾電池を併用して使用しているときに、どちらか一方を取り出さないでください。再生時は再生が止まり、録音時は録音した内容が消え、電源が切れることがあります。
- 動作中は乾電池または充電電池を交換しないでください。
- 乾電池ケースには、充電電池（ニカド電池等）は使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、電池をはずしてください。（電源が切れていてもわずかですが電池が消耗しています。）
- プラグを抜くときは、必ずプラグを持ってください。コードを持って抜くと、断線や故障の原因となります。
- カーバッテリーアダプター（別売）は指定以外のものは使用しないでください。

録音する前に知っておいていただきたいこと

デジタル録音とアナログ録音の違いについて

デジタル録音とアナログ録音には次のような違いがあります。

アナログ録音

ステレオやラジカセなどのオーディオ機器での再生音(アナログ信号)を録音する方法です。付属の接続コードで、いろいろな機器と手軽に接続できます。

接続できる機器：ライン出力端子のある機器
(ステレオ・ラジカセなど)

使用するケーブル：付属の接続コード

デジタル録音

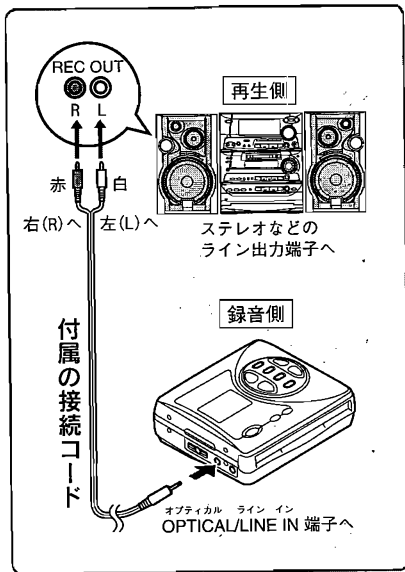
CDやMDのデジタル信号を、デジタルのまま録音する方法です。アナログに比べて、高音質での録音ができます。

接続できる機器：光出力端子のある機器
(CS/BSチューナー・CD/MDプレーヤーなど)

使用するケーブル：別売の光デジタルケーブル

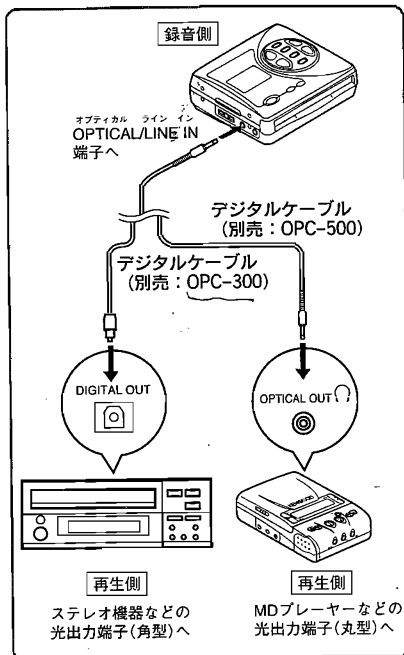
MDに録音してみよう

●接続方法



●マイクで録音するときもアナログ録音になります。

●接続方法



●「デジタルコピーに関するご注意」もごらんください。P.52

MDの種類について

再生専用MD

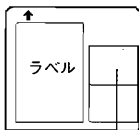
市販の音楽ソフトはこのタイプです。CDと同じように光ディスクを使っています。録音や編集はできません。



シャッターが片面(裏面)にあります。

録音・再生用MD

録音もできる「生ディスク」です。光磁気ディスクを使っているため、くり返して録音することができます。

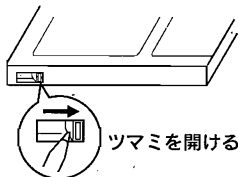


シャッターが両面にあります。

録音した内容を誤って消さないために

MD側面についている誤消去防止ツマミを矢印の方向に動かします。

- 録音や編集はできなくなります。
- 再び、録音や編集をするときは、誤消去防止ツマミをもとに戻します。(ツマミを閉じる)



音楽著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。P.54

大切な録音をするときは

- 録音待機状態で、接続や録音レベルなどが正しいか確かめてから録音を始めましょう。
- ACアダプターでを使用することをおすすめします。また、充電が完了した充電電池を必ず入れておいてください。万一停電になっても電源は自動的に充電電池に切り換わります。マイクなどでの録音時に有効です。

充電電池や乾電池で使用するとき

ヘッドホンから聞こえる音量レベルを“0”にしておけば、録音内容を聞きながら録音するときよりも、電池の消費が少なくなります。

接続時のご注意

各プラグは確実に差し込んでください。接触不良などにより、正しく録音できないことがあります。また、プラグはいつもきれいにしておいてください。プラグが汚れていると、雑音が出ることがあります。

MDに録音してみよう

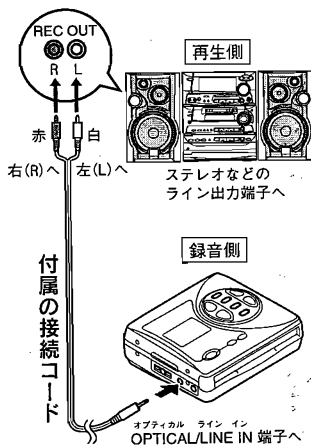
付属のケーブルを使って録音する

CDやMDから録音する（シンクロ録音）

- シンクロ録音は、接続した機器の再生音を検知して、自動的に録音を開始/一時停止する機能です。

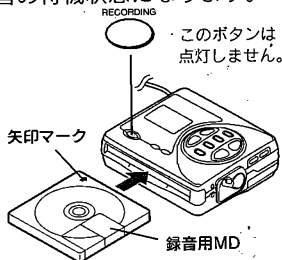
MDに録音して楽しむ

1 外部機器と接続する。



2 録音用MDを入れ、RECORDINGを押す。

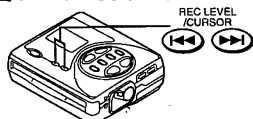
録音の待機状態になります。



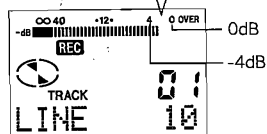
- チューナーから録音するときは、放送を受信しておきます。
- CDなどから録音するときは、録音したい曲を再生しておきます。

3 接続した機器を再生し…

◀◀ または ▶▶ を押して、
録音レベルを調整する。



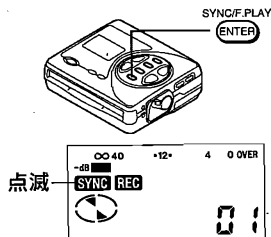
最も大きなレベルのとき、
-4dBから0dBの間に振れるようにします



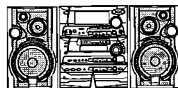
- CDなどから録音するときは、この操作のあと、接続した機器を再生待機状態にしておきます。

4 ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。

シンクロ録音の待機状態になります。



5 接続した機器を再生する。

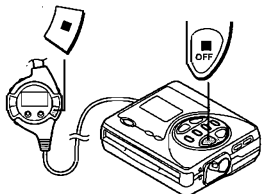


接続した機器を再生すると、
自動的に録音が始まります。

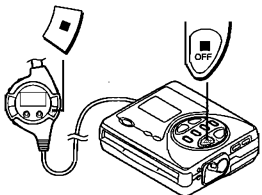
録音を一時停止するときは

- 接続した機器を停止すると、自動的にシンク口録音の待機状態になります。再び再生すると、続けて録音できます。
- 無音状態が3秒以上続くと自動的に一時停止になります。
- この製品の **▶||** を押しても録音の待機状態にはなりません。

録音を止めるときは

録音中に… **■(OFF)** を押す。

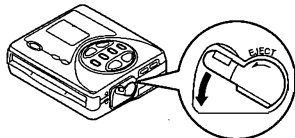
電源を切るには

停止中に… **■(OFF)** を押す。

- TOCを記録したあと、電源が切れます。TOCについて P.27
- 停止後そのままにしておくと、約2分後に電源が切れます。

MDを取り出すには

電源を切って、EJECTつまみを矢印の方向に動かす。



次のときは録音できません

- 再生専用MD（市販の音楽ソフト）に録音しようとしたとき
- MDが誤消去防止状態になっているとき

録音レベルについて

- 録音レベルは、低すぎると音が小さくなり、高すぎるとひずみが増えます。特にCDなどは、音の強さの変化範囲が広がっていますので、録音レベルを上げすぎないようにしてください。

録音時のご注意

- 録音中は本体に衝撃を与えないください。正しく録音できないことがあります。
- 再生信号によっては、正確な位置で録音開始・一時停止しないことがあります。このようなときは、マニュアル録音を行ってください。 P.16

MDを入れるときのご注意

- MDのまん中を押して、本体に対して水平に入れてください。
- 何か異常があったときは、無理に入れないでください。故障の原因となります。このときは、MDを取り出し、もう一度入れてください。

お知らせ

- 各ボタンを操作すると、リモコンの表示部に約4秒間照明がつきます。（バックライト P.46）

付属のケーブルを使って録音する（つづき）

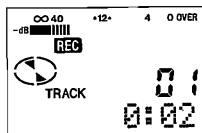
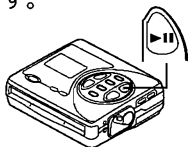
チューナーやCDから録音する（マニュアル録音）

- マニュアル録音は、手動で（ご自分の好きなタイミングで）録音を始めることができます。

MDに録音してみよう

1 録音の待機状態にする。
シンクロ録音の操作1～3
を行う。

2 **▶||**を押す。
CDなどから録音するときは、**▶||**
を押したあと、接続した機器を再
生します。



- 録音が始まります。
 - 録音中に曲番をつけるには、録音中に**RECORDING**を押します。押すたびに曲番が増えます。
- ☞ P.22

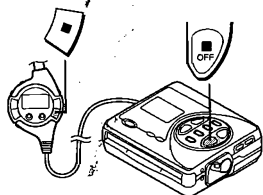
録音を一時停止するとき

録音中に… **▶||**を押す。

- 録音の待機状態になります。
- もう一度押すと、録音が始まります。このとき、曲番が1つ増えます。

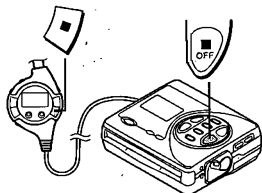
録音を止めるときは

録音中に… **■(OFF)**を押す。



電源を切るには

停止中に… **■(OFF)**を押す。



- TOCを記録したあと、電源が切れます。TOCについて☞ P.27
- 停止後そのままにしておくと、約2分後に電源が切れます。

マイクから録音する

マイクシンクロ録音

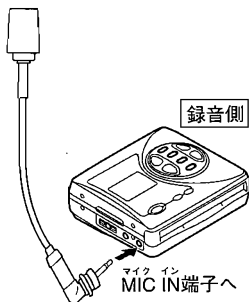
- 音や声に反応して、録音が自動的に開始／一時停止しますので、講義や会議などに便利です。

MDに録音してみよう

1 マイクを接続する。

入力はマイクに切り換わります。

別売のプラグインパワー方式
ステレオマイクロホン (MC-R1)

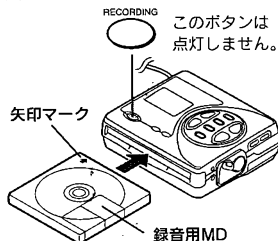


指定以外のマイクを使うときは、必ずプラグインパワー方式のものをご使用ください。

- プラグインパワー方式とは、マイクをつなぐとマイクに電源が供給され、マイクが動作する方式です。
- 他のマイクを接続すると、正しく動作しなかったり、故障の原因となります。
- マイクは直径3.5mmステレオミニプラグ付きのものをお使いください。
- マイク録音時には、本体のLINE IN端子に何も接続しないでください。

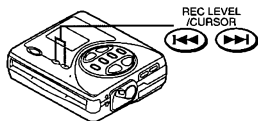
2 録音用MDを入れ、RECORDINGを押す。

録音の待機状態になります。

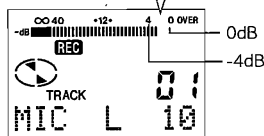


- モノラル長時間モードで録音することもできます。P.21
- 録音中に、マークをつけることができます。P.20、22

3 ◀▶ または ▶▶ を押して、録音レベルを調整する。



最も大きなレベルのとき、
-4dBから0dBの間に振れるようにします

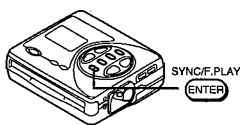


- 録音レベル表示が“MIC H”から“MIC L”などに切り換わるとき、音が一瞬とぎれますが故障ではありません。

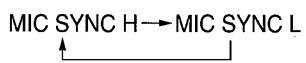
マイクマニュアル録音

- 手動で（ご自分の好きなタイミングで）録音を始めることができます。

4 ENTER/SYNC/F.PLAYを押す。



- 押すたびに次のように切り換わります。（録音中でも切り換えができます）



- シンク口録音レベルの設定は、下表を目安にしてください。

	シンクレベル表示	録音を開始するレベル
マイク入力	MIC SYNC H	 -24dB
	MIC SYNC L	 -12dB

- MIC SYNC Hに設定すると、小さな音でも録音が始まります。雑音などで録音が始まる場合は、MIC SYNC Lに設定してください。

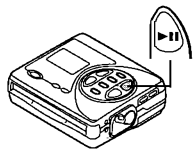
5 録音する。

マイクに音や声など信号の入力があると、録音が自動的に開始します。

- 無音状態が3秒以上続くと、自動的に一時停止します。（ただし、録音開始後約10秒間は一時停止しません。）

1 録音の待機状態にする。 マイクシンク口録音の操作1～3を行う。

2 ▶||を押す。



録音を一時停止するときは

マイクシンク口録音時：

- 録音中に… ▶||を押す。
- マイクシンク口録音が解除され、録音の待機状態になります。
 - 再び、マイクシンク口録音を始めるには、ENTER/SYNC/F.PLAYを押します。

マイクマニュアル録音時：

- 録音中に… ▶||を押す。
- 録音の待機状態になります。
 - もう一度押すと、録音が始まります。このとき、曲番が1つ増えます。

録音を止めるときは

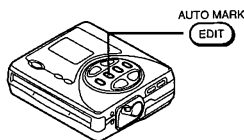
- 録音中に… ■(OFF)を押す。

マイク録音中につくマークの間隔を変える

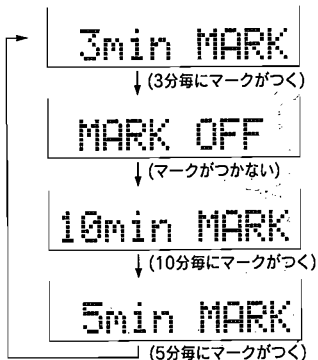
マイクから録音するときは、頭出しができるように一定間隔（はじめは、5分間隔）でマークが自動的につきます。（タイムオートマーク機能）
マークのつく間隔を変えることができます。

録音の待機中または録音中に…

EDIT/AUTO MARK をくり返し押す。



- 押すたびに次のように切り換わります。



- マークの間隔は、実際の録音時間と比較して多少ずれを生じることがあります。

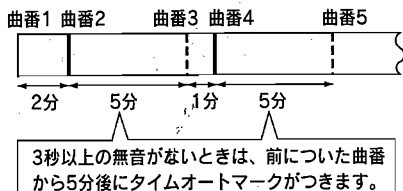
タイムオートマークについて

録音が開始されると、曲番が自動的につきます。

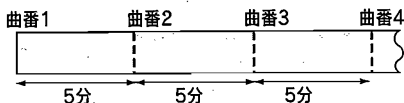
- — はシンクロ録音中、3秒以上無音状態のときにつく曲番
- --- はタイムオートマークでつく曲番

「5分」に設定したときの例

マイクシンクロ録音をしているとき

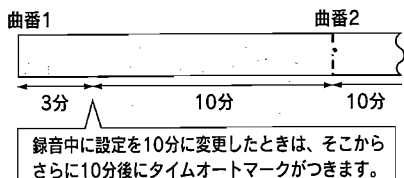


マイクマニュアル録音をしているとき



- 5分ごとにタイムオートマークがつきます。

タイムオートマークの設定を変えたとき



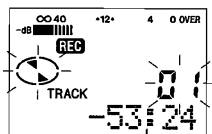
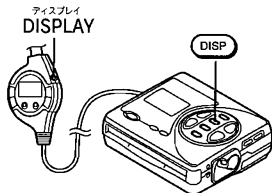
録音できる時間を確かめる

録音前や録音中に、録音できる残り時間を確かめることができます。

- 表示された残り時間は、実際の残り時間と多少異なることがあります。▶P.51

録音の待機中または録音中に…

DISPLAY または **DISP** を押す。



録音できる残り時間

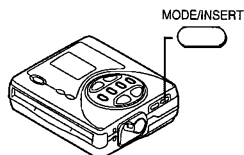
- もう一度押すと、もとに戻ります。

モノラルで長時間録音する

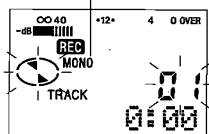
ステレオモードの約2倍の時間が録音できます。(モノラル長時間モード)
会議や講演会などを録音するときに便利です。

録音の待機中に…

MODE/INSERT を押す。



モノラル長時間モードのときに点灯



- もう一度押すと、ステレオモードに戻ります。

- 入力がステレオのときは、右チャンネルと左チャンネルの音がミックスされて録音されます。
- 録音中、ヘッドホンから聞こえるモニター音はステレオですが、録音されている音はモノラルです。
- モノラル長時間モードで録音すると、通常再生の2倍の早さで聞くことができます。(2倍速早聞き再生) ▶P.33
- モノラル長時間モードで録音したMDは、他のMDプレーヤーでは再生できないことがあります。
- モノラル長時間モードで録音したあとと停止すると、ステレオモードに戻ります。

MDに録音してみよう

録音中に曲番をつける

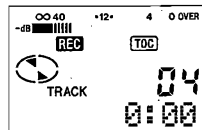
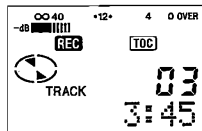
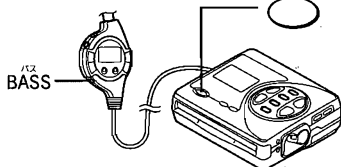
好きな位置で頭出しができるように、自分で曲番をつけることができます。

録音中に…

曲番をつけたい所で **BASS** または **RECORDING** を押す。

このボタンは
点灯しません。

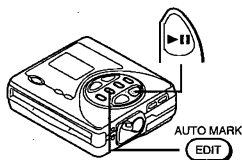
RECORDING



- 曲番が1つ増えます。

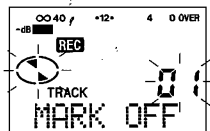
ひと続きの曲として録音する

オートマーク機能 (P.26) を使わずに、1回の録音を1つの曲番でひと続きの曲として録音することができます。



1 録音の待機中に…

EDIT/AUTO MARK を押す。



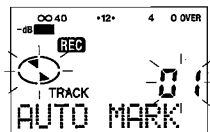
(表示はすぐに消えます。)

2 **▶||** を押し、録音を始める。

- CDやMDからデジタル入力で録音する場合は、CDやMDと同じ所に曲番がつきます。

曲番を自動的につけるとき

録音の待機中に **EDIT/AUTO MARK** を押し、**AUTO MARK** を表示させてから録音を始めます。

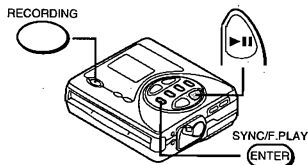


録音部分の途中から録音する

すでに録音されている曲の途中から、新たに録音することができます。

- 新たに録音を開始した位置以降の曲は、すべて消えてしまいます。
ご注意ください。

このボタンは
点灯しません。



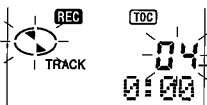
- 再生中に…
▶II を押し、一時停止にする。

- RECORDING を押す。



- 録音をやめるときは、
■(OFF) を押します。

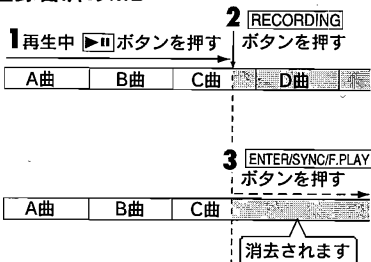
- ENTER/SYNC/F.PLAY を押し、
停止位置以降すべてを消去
します。



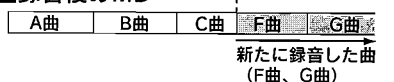
次に録音される曲番

- ▶II を押し、録音を始める。

■録音済のMD



■録音後のMD



消したくない曲が途中にあるときは

この操作をする前に、ムーブ機能
(P.35) を使ってその曲を移動して
ください。

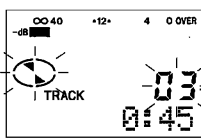
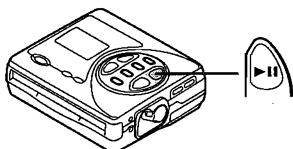
MDに録音してをしよう

1曲ずつ曲を消す

消したい1曲を消すことができます。曲名も消えます。(イレース機能)

- もとには戻せません。よく確かめてから操作してください。

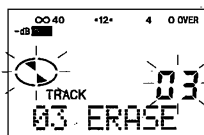
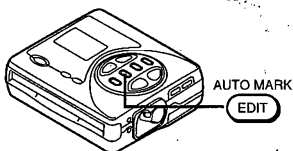
- 1** 消したい曲を再生中に…
▶||を押す。



一時停止した曲番

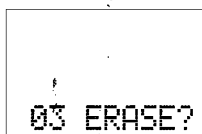
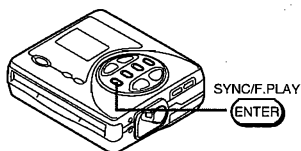
- 一時停止状態になります。

- 2** **EDIT/AUTO MARK** をくり返し
押し、“ERASE” を選ぶ。



- 停止中に選んだときは、◀◀ または ▶▶ で曲番を変えることができます。

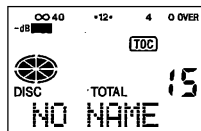
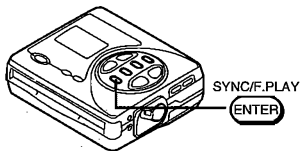
- 3** **ENTER/SYNC/F.PLAY** を押す。



(消してもよいかどうかの確認です)

- 操作を中止するときは、**■(OFF)** を押します。

- 4** もう一度 **ENTER/SYNC/F.PLAY** を押す。



- 曲が消え、総曲数が表示されます。
- 消した曲以降の曲番は、1つずつ下がります。

続けて他の曲を消すときは

1~4の操作をくり返します。

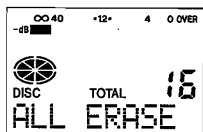
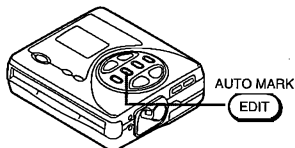
すべての曲を消す

MD内の曲をすべて消すことができます。ディスク名・曲名も消えます。(オールイレース機能)

● もとには戻せません。よく確かめてから操作してください。

1 停止中に…

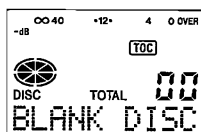
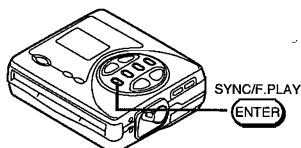
EDIT/AUTO MARK をくり返し
押し、“ALL ERASE”を選ぶ。



● **EDIT/AUTO MARK** を押し続けて (2秒以上)、選ぶこともできます。

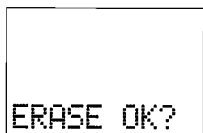
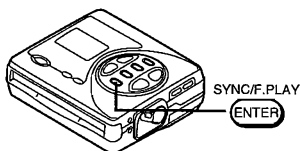
3 もう一度…

ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。



● すべての曲が消えます。

2 **ENTER/SYNC/F.PLAY** を押す。



(消してもよいかどうかの確認です)

● 操作を中止するときは、**OFF** を押します。

曲番について

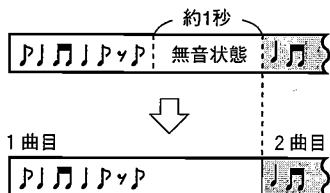
録音すると曲番が自動的につきます。(オートマーク機能/シンクロマーク機能)

MPに録音してみよう

アナログ入力で録音したとき

【CD/MD以外のデジタル入力時も含む】

1秒以上の無音部分を曲間として、曲番が自動的につきます。(オートマーク機能)

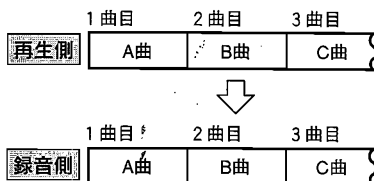


デジタル入力で録音したとき

【CD/MDのみ】

CDやMDについている曲番と同じ所に、1曲ごとの曲番が自動的につきます。

(シンクロマーク機能)



- 信号に雑音があるときなど、録音する内容によっては、正しい位置に曲番が見つからないこともあります。
- オートマーク機能を使わずに、ひと続きの曲として記録することもできます。
P.22
- ディスクによっては、再生側の曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。
- 録音時に、再生側をプログラム再生、または手動で選曲しながら再生したときは、曲番が正しくつかないことがあります。
- 曲番は録音したあとに変更することもできます。
P.34
- CDの再生機器によっては、デジタル入力でも曲番がつかないことがあります。

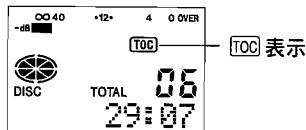
TOCについて

TOC (Table of Contentsの略) とは、曲番や録音場所など、曲を認識するための目次情報です。再生時の頭出しがすばやくできたり、自動的に空いている場所に録音できるのは、このTOCでMD全体を管理しているからです。

● TOCは、曲や音声とは別の場所 (MD内) に記録されています。

TOCの記録について

録音や編集をすると、画面に "TOC" が表示されます。

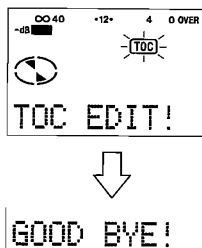


これは、録音や編集によって、TOCの内容が変更されていることを示しています。

● この時点では、まだMDには記録されていません。

TOCはいつ記録される？

TOCは停止中に [OFF] を押して、この製品の電源を切ると、自動的に記録されるようになっています。



TOCの記録が終わると、電源が切れます。

ご注意

● "TOC" が表示されているときは、MDは取り出せません。電源を切ってから、取り出してください。

"TOC" や "TOC EDIT!" が表示されているときは、次のことはしないでください。

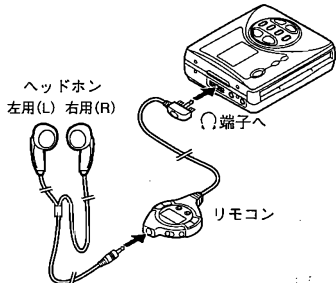
- ・ 本体に衝撃を与えない。
- ・ ACアダプターを抜かない。
- ・ 充電電池や乾電池を抜かない。

TOCが正しく記録されずに、録音や編集した内容が消えます。

編集は続けて行えます

編集内容の書き込みは、いくつかの編集作業のあと、最後にまとめて行ってもかまいません。

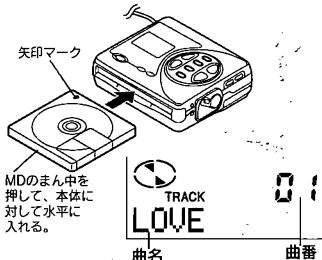
1 リモコンとヘッドホンをつなぐ。



- リモコンのプラグは方向性がありますので、図のように差し込んでください。

2 MDを入れる。

電源が自動的に入り、1曲目から再生が始まります。(オートプレイ)



(曲名が入っていないときは表示されません。)

- 最後の曲が終わると、自動的に停止します。

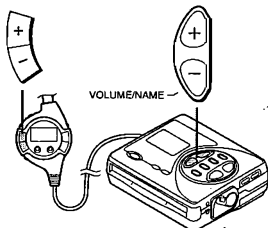
MDを入れても再生が始まらないとき

▶▶を押す。

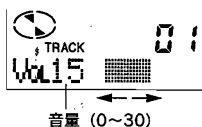
次のようなときは、オートプレイが働きません。

- 録音用MDのつまみを閉じているとき。P.13
- オートプレイを解除しているとき。P.47

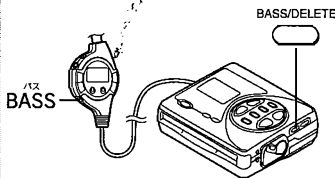
3 音量を調整する。



- +ボタン…音が大きくなる
- ボタン…音が小さくなる



4 低音を調整する。



ボタンを押すごと、次のように表示が変わります



- 録音中は、低音を強調することができません。(解除状態)
- 音量や低音の設定は、電源を切っても記憶しています。

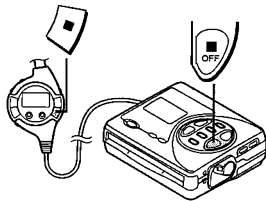
一時停止するとき

▶IIを押す。

- もう一度押すと、止めた所から再生します。

再生を止めるとき

再生中に… ■(OFF)を押す。

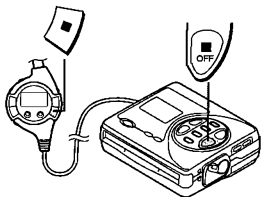


- ▶IIを押して再び再生すると、止めた所から再生します。(リジューム機能)
ただし、MDを取り出すと1曲目から再生します。

電源を切るには

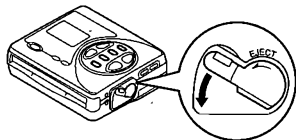
停止中に… ■(OFF)を押す。

- 停止後そのままにしておくと、約2分後に電源が切れます。



MDを取り出すには

電源を切って、EJECTつまみを
矢印の方向に動かす。



乾電池のみで使用するとき

- オートプレイは動きません。
- 再生するとき、▶IIを約1秒押し続けてください。
- 電源が切れているときに、MDを入れ換えても、ランダム再生やリピート再生の設定は記憶されたままとなります。

接続時のご注意

- 付属のリモコン以外は使用しないでください。
- ヘッドホンのゴム製パッドは取り外さないでください。
- 各プラグは最後まで確実に差し込んでください。
- プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを持って抜くと、断線や故障の原因となります。

音とびについて

- この製品は振動に対して、音とびしにくくなっていますが、連続した振動に対しては、音がとぎれることがあります。

音がひずむときは

- 低音を強調しているときに音量を上げすぎると、曲によっては音がひずむことがあります。このときは、低音の強調レベルを下げるか、音量を下げてください。
- 音量を“VOL 26”以上に設定しているときは、音のひずみを少なくするために、低音の強調レベルが自動的に調整されます。

ご注意

- MDを入れてすぐに再生させたくないときや、持ち運ぶときは、電源を切るか、オートプレイを解除してください。P.47
そのままにしておくと、オートプレイが働いて電池が消耗します。

カーバッテリーアダプターで使用のとき

- 再生中に車のエンジンキーを“切”にすると、この製品の電源も切れます。このあと、エンジンキーを“入”にすると、止めた曲の頭から再生が始まります。(リジュームオートプレイ機能)
車種によっては、電源が切れないことがあります。

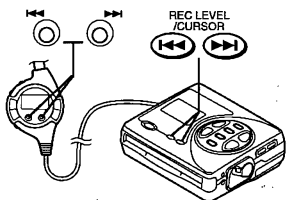
再生中に曲の頭出しをする

聞いている曲を頭から聞き直したり、次の曲を頭から聞くことができます。

(頭出し再生)

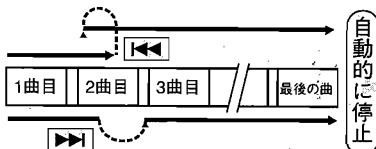
再生中に…

◀◀ または ▶▶ を1回押す。



◀◀ : 聞いている曲の頭から聞くとき

▶▶ : 次の曲の頭から聞くとき



曲を続けてとばすには

◀◀ または ▶▶ をくり返し押します。

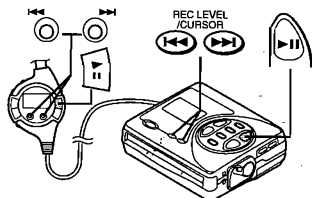
●表示された曲の頭から再生します。

聞きたい曲から聞く

停止中に、聞きたい曲の曲番を選んで再生できます。

1 停止中に…

◀◀ または ▶▶ を押す。



◀◀ : 曲番を下げるとき

▶▶ : 曲番を上げるとき

●押したままにすると、曲番が連続して変わります。

●1曲目を選んでいるときに◀◀を押すと、最後の曲になります。

最後の曲を選んでいるときに▶▶を押すと、1曲目になります。

2 選んだ曲を再生する。

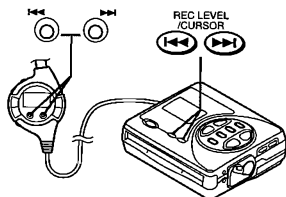
▶▶ を押す。

再生中に聞きたい場所を探す

音を聞きながら、早送りや早戻しができます。

再生中に…

◀◀ または ▶▶ を押し続ける。



◀◀ : 早戻しするとき

▶▶ : 早送りするとき

● 指を離すとふつ々の再生に戻ります。

お知らせ

- 早送り/早戻し中は音がとぎれます。
- 早送りで最後の曲の終わりまでくると、一時停止状態になります。また、早戻しで1曲目の頭までくると再生状態になります。
- 全曲リピート状態にしておくと、1曲目と最後の曲にまたがって、早送り/早戻しができます。
(一時停止または再生状態にはなりません。)

さらに早くさがしたいときは

一時停止しているときに早送り/早戻しの操作をすると、再生中に操作したときよりも早くさがせます。

- 音は出ませんので、時間表示を目安にしてください。
- 指を離すと、その位置で一時停止状態になります。

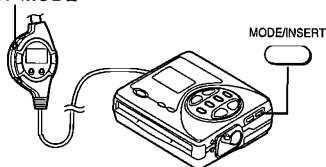
ランダム再生、リピート再生をする

順不同に曲を選んで再生(ランダム再生)したり、全曲または、再生中の曲をくり返して再生(リピート再生)することができます。

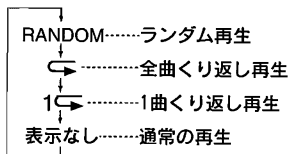
再生中または停止中に…

PLAY MODE または MODE/INSERT をくり返し押す。

プレイ モード
PLAY MODE



● 次のように切り換わります。



● 停止中に操作したときは、再生方法を選んだあと、▶▶ を押します。

お知らせ

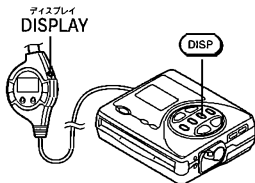
- “**TOC**” 表示が出ているときは、リピート再生はできません。
- ランダム再生は、この製品が自動的に曲を選んで再生します。(自分で選曲できません。)
ランダムで全曲を再生すると、自動的に止まります。
- ランダム/1曲リピート再生中は、聞いている曲を越えて早送り/早戻し再生はできません。
- ランダム再生中のときは、聞いている曲以前への頭出しはできません。

経過時間、残り時間を表示する

再生中に、聞いている曲の経過時間や残り時間が確認できます。

再生中に…

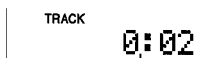
DISPLAY または DISP を押す。



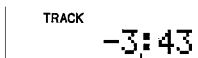
押すたびに、次のように変わります。



曲名



再生経過時間



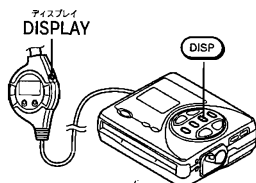
再生残り時間

録音残り時間、総再生時間を表示する

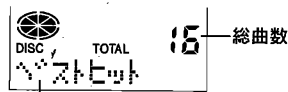
停止中に、録音残り時間や総再生時間が確認できます。

停止中に…

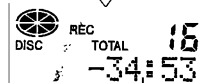
DISPLAY または DISP を押す。



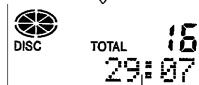
押すたびに、次のように変わります。



ディスク名



録音残り時間



総再生時間

MDを聞いてみよう

曲名を順に表示するには

停止中に、◀◀ (前の曲名を表示) または ▶▶ (次の曲名を表示) を押します。

再生時間について

再生中の経過時間表示は実際の時計の時間と異なることがあります。

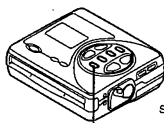
- 曲名やディスク名が入っていないときは、表示できません。(NO NAME)
- [文字情報 英語] マークがついている再生専用ミニディスク (市販の音楽ソフト) など文字情報 (曲名など) を表示します。
- この製品は、MDの標準規格に従ったカタカナ文字の表示が可能になっています。規格に合わないMDを再生した場合は、カタカナ表示にならないことがあります。

2倍速早聞き再生する

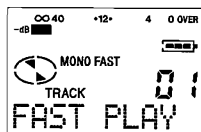
モノラル長時間モードで録音されたMDを2倍速で聞くことができます。

モノラル長時間モードで録音されたMDの再生中に…

ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。



- 早聞き再生が始まります。



- 録音内容によっては、聞き取りにくいことがあります。

早聞き再生を一時停止するには

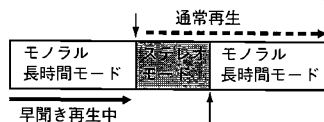
再生中に、**▶||**を押す。

- もう一度押すと、早聞き再生します。

通常の再生に戻すには

ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。

早聞き再生中に、ステレオモードで録音された曲番になったときは解除されます。



- もう一度、早聞き再生で聞くときは、

ENTER/SYNC/F.PLAY を押します。

MD編集機能でできること

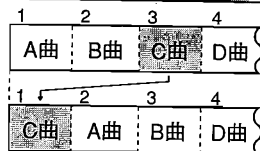
曲の順番を並べ換えたり、ディスクや曲の名前をつけたりするなど、MD編集機能を使って、オリジナルディスクを作りましょう。

●再生専用MDを編集することはできません。

■曲を移動する（ムーブ機能） P.35

指定した曲を、希望する位置に移動することができます。

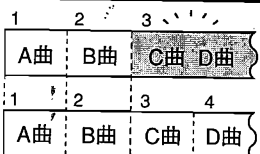
●移動した位置以降の曲番は、自動的に変更されます。



■1つの曲を分ける（デバイド機能） P.36

1つの曲を、希望の位置で2つの曲に分けることができます。

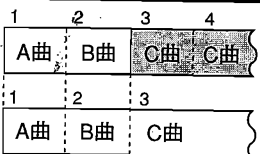
●分けた曲以降の曲番は1つ上がります。



■連続した2つの曲をつなく（コンバイン機能） P.37

連続した2つの曲を、1つの曲にすることができます。

●つないだ曲以降の曲番は1つ下がります。

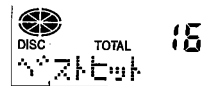


■ディスクや曲に名前をつける（ネーム機能） P.38

ディスク全体の名前、曲ごとの名前（最大255曲）をつけることができます。

頭出し時や再生中に表示されるため、曲の確認がすばやくできます。

●カタカナ、アルファベット（大文字／小文字）、数字、記号が使用できます。



ディスク名



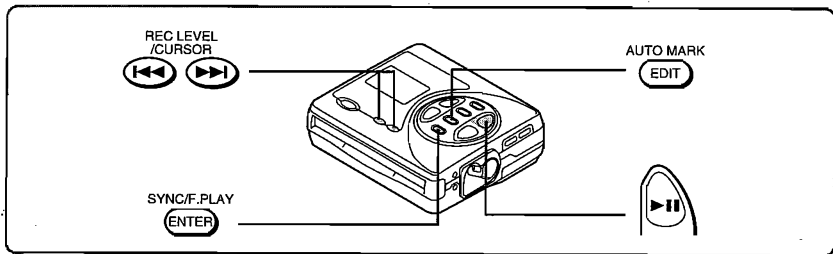
曲名

■文字情報を丸ごとスタンプする（文字スタンプ機能） P.42

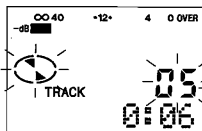
録音したいMD（曲や文字の入ったマスターMD）の文字情報を丸ごと録音用MDにスタンプできます。

曲を移動する

指定した曲を、希望する位置に移動することができます。(ムーブ機能)



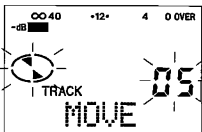
1 移動したい曲を再生中に…
▶||を押す。



5曲目を移動するとき

●一時停止状態になります。

2 EDIT/AUTO MARK をくり返し、
ムーブ押し、“MOVE”を選ぶ。



3 ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。



(移動してもよいかどうかの確認です)

●操作を中止するときは、
■(OFF)を押します。

4 ◀◀ または ▶▶ を押し、
移動先を選ぶ。

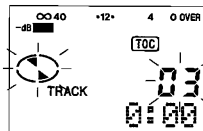


(3曲目に移動するとき)

◀◀ : 曲番を下げる

▶▶ : 曲番を上げる

5 ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。

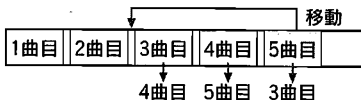


●曲が移動し、その曲の頭で一時停止状態になります。

曲番は自動的に変わります

移動した曲以降の曲番は、自動的に新しい曲番に変わります。

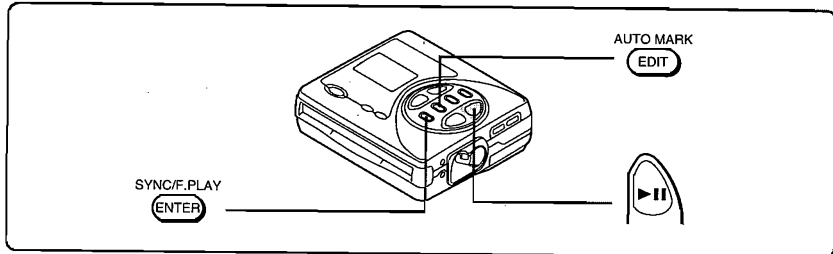
例) 5曲目を3曲目に移動したとき



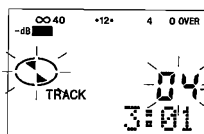
オリジナルディスク
を作るう

1つの曲を分ける

1つの曲を、希望の位置で2つの曲に分けることができます。(デバイド機能)



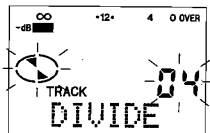
1 分ける曲を再生中に…
分けたい所で **▶||** を押す。



4曲目を分けるとき

- 一時停止状態になります。

2 EDIT/AUTO MARK をくり返し
押し、“DIVIDE” を選ぶ。



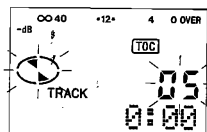
3 ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。

DIVIDE OK?

(分けてもよいかどうかの確認です)

- 操作を中止するときには、
■(OFF) を押します。

4 もう一度…
ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。



- 曲が分けられ、うしろの曲の頭で一時停止状態になります。
- 分けた曲以降の曲番は、1つずつ上がります。

分ける曲に曲名がついているとき

曲を分けると、両方の曲に同じ曲名がつきます。ただし、“TOC FULL” 状態では、うしろの曲に曲名がつかないことがあります。

★**TOC FULL** **トックフル** P.53

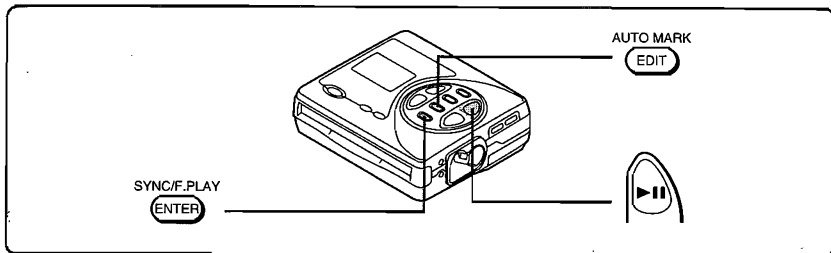
分けられる曲数について

1枚のMDで最大255曲まで曲を分けることができます。ただし、254曲以下でも曲を分けられないことがあります。

★**TOC FULL** **トックフル** P.53

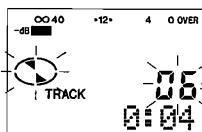
連続した2つの曲をつなく

連続した2つの曲を、1つの曲にすることができます。(コンバイン機能)



1 つなぐうしろの曲を再生中に…

▶||を押す。

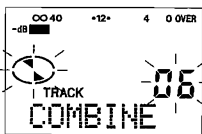


5曲目と6曲目をつなぐとき

- 一時停止状態になります。

2 EDIT/AUTO MARK をくり返し

押し、^{コンバイン}“COMBINE”を選ぶ。



3 ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。

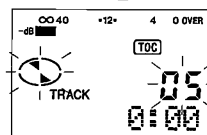
05+ 06 ?

(つないでもよいかどうかの確認です)

- 操作を中止するときは、
■(OFF)を押します。

4 もう一度…

ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。



- 曲がつながり、つながった曲の頭で一時停止状態になります。
- つないだ曲以降の曲番は、1つずつ下がります。

離れた2つの曲をつなぐとき

ムーブ機能(☞P.35)で2つの曲を連続させたあと、コンバイン機能でつなぎます。

つなく曲に曲名がついているとき

曲名は、前の曲のものになります。ただし、前の曲に曲名がついていないときは、うしろの曲名がつかます。

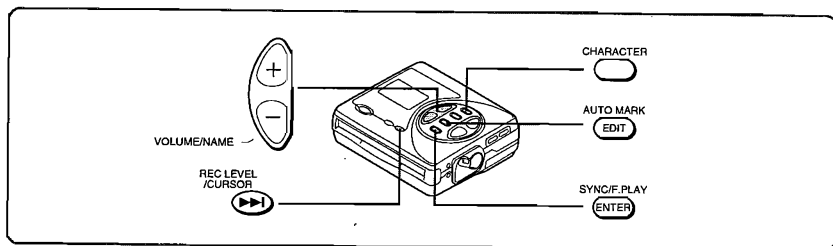
こんなときはつなげません

- モノラル長時間モードで録音した曲と、ステレオモードで録音した曲。
- デジタル入力で録音した曲と、アナログ入力から録音した曲。
- 12秒以下の短い曲。

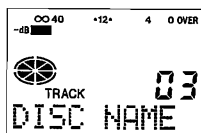
オリジナルディスク
を作るう

ディスク名をつける

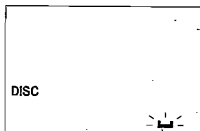
ディスク全体の名前をつけます。最大100文字まで入力できます。
(ディスクネーム機能)



- 1** 停止中に…
EDIT/AUTO MARK をくり返し
押し、“DISC NAME”を選ぶ。



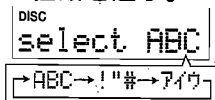
- 2** ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。



文字の入る位置 (カーソル)

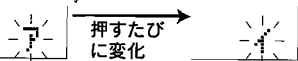
- 文字入力状態になります。
- 操作を中止するときは、
■(OFF) を押します。

- 3** CHARACTER をくり返し押し、
文字の種類を選ぶ。



- 選んだ文字の種類が約1秒間表示
されます。

- 4** + または - をくり返し押し、
入れたい文字を選ぶ。



- ボタンを押し続けると、連続して切り換わります。

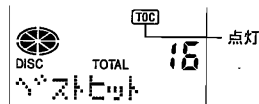
- 5** 入れたい文字が表示されたら…
▶▶ を押す。



次の文字の入る位置

- 操作3~5をくり返し、必要な文字をすべて入力します。同じ種類の文字を続けて入力するときは、3の操作は必要ありません。

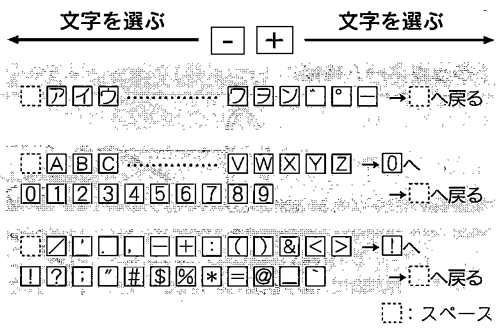
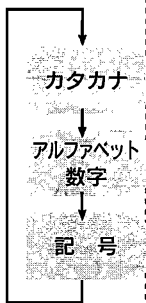
- 6** 文字をすべて入力したあと…
ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。



- ディスク名が登録されます。

CHARACTER

文字の種類
を選ぶ



文字のまちがいに気がついたとき

文字を消すとき

- 1 **◀** または **▶** で、消したい文字をカーソルの上に移動する。
- 2 **BASS/DELETE** を押す。



文字を直すとき

- 1 **◀** または **▶** で、直したい文字をカーソルの上に移動する。
- 2 正しい文字を入れる。

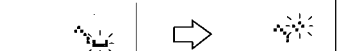
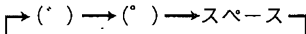


★登録後に文字を直すとき P.41

濁音 (゜) や半濁音 (゜) を入れるとき

濁音や半濁音つきの文字 (“ベ” や “バ” など) は、1文字で入れることはできません。濁音や半濁音をつけたい文字を入れたあと、次の文字として濁音 (゜) や半濁音 (゜) を入れます。

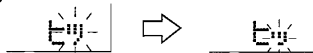
- 1 **▶** でカーソルを右に移動する。
- 2 **DISP** を押して入れる。



- **+** または **-** を押して選ぶこともできます。

小文字を入れるとき

操作4で大文字を入れたあと **DISP** を押す。



- もう一度、**DISP** を押すと、大文字に戻ります。

小文字に変換できる文字

アイウエオツヤユヨ	A~Z
↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	
アイウエオツヤユヨ	a~z

オリジナルディスク
を作るう

スペース (空白) を入れるとき

- 1 **+** または **-** を押してスペースを選ぶ。
- 2 **▶** を押す。

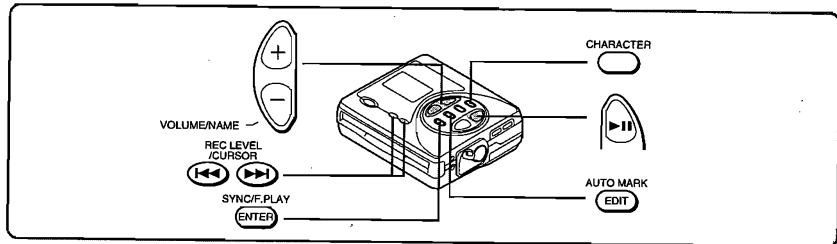


お知らせ

- 1枚のMDには、曲名とディスク名を合わせて約1700文字まで文字を入れることができます。
(アルファベット/数字/記号入力時)

曲名をつける

曲ごとの名前をつけます。1つの曲名には、最大100文字まで入力できます。
(トラックネーム機能)



- 1** 曲名をつけたい曲を再生中に…
▶||を押す。



曲名をつけたい曲番

- 一時停止状態になります。

- 2** EDIT/AUTO MARK をくり返し
押し、トラック ネーム“Tr NAME” を選ぶ。



- 停止中に選んだときは、◀|または▶|で曲番を変えることができます。

- 3** ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。

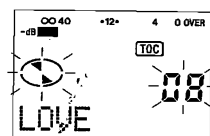


文字の入る位置 (カーソル)

- 文字入力状態になります。
- 操作を中止するときは、**[OFF]**を押します。

- 4** 「ディスク名をつける」の操作3~5を行う。

- 5** 文字をすべて入力したあと…
ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。



- 曲名が登録されます。

★文字のまちがいに気がついたとき
P.39

★小文字、スペース、濁音、半濁音
を入れるとき P.39

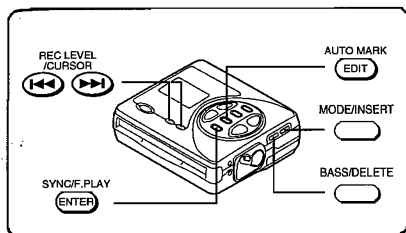
他の機器で聞くときのご注意

- この製品でカタカナを入力したとき、他の機器では正常に表示されないことがあります。
また、カタカナ機能のない機器で再生したときは、アルファベットで表示されます。
- 他の機器でカタカナ入力されたMDは、この製品では正常に表示されないことがあります。

ディスク名や曲名を修正する

登録したディスク名や曲名を修正（変更／追加／削除）できます。

- 他の機器で101文字以上のディスク名や曲名を入れたMDは、101文字目以降の修正はできません。



文字を追加するとき

例) 「ベスト」 → 「ベスト」

1 文字入力状態にする。

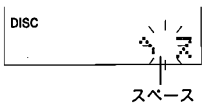
ディスク名：P.38 操作1～2
曲名：P.40 操作1～3

2 ◀◀ または ▶▶ を押して、追加したい位置の右の文字をカーソルの上に重ねる。



追加したい位置の右の文字

3 MODE/INSERT を押す。



スペース

- スペースが入ります。

4 追加する文字を入れ…

ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。



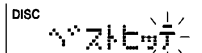
文字を変更するとき

例) 「ヒツテ」 → 「ヒット」

1 文字入力状態にする。

ディスク名：P.38 操作1～2
曲名：P.40 操作1～3

2 ◀◀ または ▶▶ を押して、変更したい文字をカーソルの上に重ねる。



3 変更する文字を入れ…

ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。

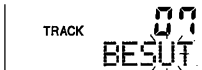
文字を削除するとき

例) 「BESUT」 → 「BEST」

1 文字入力状態にする。

ディスク名：P.38 操作1～2
曲名：P.40 操作1～3

2 ◀◀ または ▶▶ を押して、削除したい文字をカーソルの上に重ねる。



3 BASS/DELETE を押す。

- 文字が消えます。

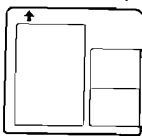
4 ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。




文字情報を丸ごとスタンプする

あらかじめ曲と文字の入ったMD（マスターMD）からディスク名や曲名などの文字情報を丸ごと録音用MD（スタンプ用MD）にスタンプできます。（文字スタンプ機能）

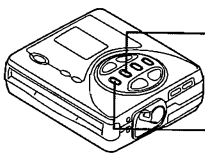
マスターMD
(録音済みMD)



録音用MD



1. 音声を録音
2. ディスク名や曲名などの文字情報を録音



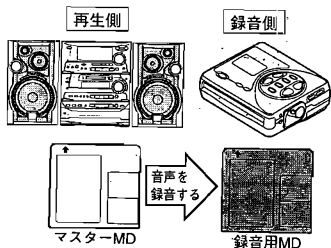
AUTO MARK
EDIT

SYNC/F. PLAY
ENTER

★再生専用のMDから文字情報をスタンプすることはできません。

オリジナルディスクを作る

1 マスターMDから音声を録音用MDに録音する。



- 基本的な録音のしかたをごらんください。(P.12~17)
- このときは、音声だけが録音され、文字情報はまだ入りません。
- 録音したMDの総曲数がマスターMDの総曲数と一致しているか確かめてください。もし、一致していないときは、編集操作で曲をつないだり、分けたりしてください。(P.35~37)

2 録音が終われば…録音用MDを取り出し、マスターMDをDMC-J7Rへ入れる。

- マスターMDと録音用MDの区別をつけておいてください。

3 停止中に… EDIT/AUTO MARK をくり返し

押し “NAME STAMP” を選ぶ。



4 ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。

READ OK?

(マスターMDの文字情報を読み込んでよいかどうかの確認です)

- 操作を中止するときは、
■(OFF)を押します。

5 ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。

Reading!

- マスターMDの文字情報を読み込んでいます。

6 “CHANGE MD” と表示されたらマスターMDを取り出す。

CHANGE MD

- マスターMDを取り出すとき、電源を切らないでください。操作が中止されます。

7 録音用MDを
DMC-J7Rへ入れる。

INSERT MD



TOC READ



WRITE OK?

(文字情報を記録してよいかどうかの確認です)

- 操作を中止するときは、
■(OFF)を押します。

8 ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。

Writing!



COMPLETE

- 文字情報の記録が終わり、停止状態になります。

お知らせ

- マスターMDと録音用MDとの総曲数(トラック数)が一致しないときは、次のように表示され、電源が切れます。

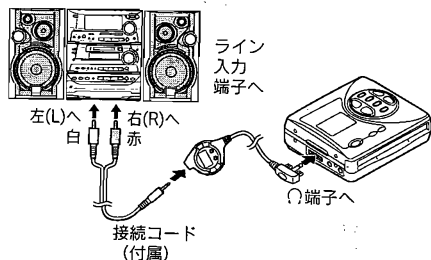
Can't WRITE

- このようなときは、編集操作で総曲数を一致させ、操作2からやり直してください。

オリジナルディスク
を作るう

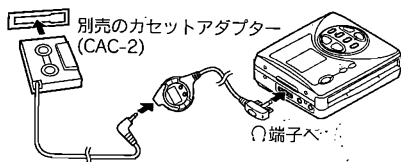
他の機器と接続して使う

ステレオやラジカセで聞く、
またはカセットテープに録音する



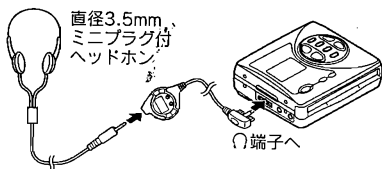
- 録音は、アナログ録音になります。

カーステレオで聞く



- カーステレオによっては、別売のカセットアダプターが使用できないものがあります。

市販のヘッドホンで聞く



- 使用するヘッドホンのインピーダンスによって、電池持続時間が変わります。

こんなときは

お願い

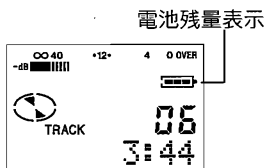
- 各プラグは確実に差し込んでください。接触不良などにより、正しく再生できないことがあります。
- ヘッドホンは直接本体につなぐこともできます。
- ステレオやラジカセなど他の機器で聞くときは、この製品の音量を「VOL30」にしておくことをおすすめします。

音のエチケット

- 楽しい音楽もヘッドホンからみれる「シャカシャカ」という音は、周囲の人にとって気になるものです。特に電車やバスの中などの密集した場所では音量を下げ、ご迷惑にならないようにしてください。

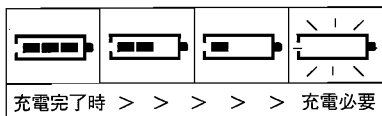
電池残量を確認する

動作中は、電池残量表示 (■■■■) ができます。



残りわずかになってくると表示全体が点滅します。充電電池を充電しなおすか、新しいアルカリ乾電池と取り換えてください。

電池残量表示のみかた



このとき、録音や編集をはじめるとはできません。

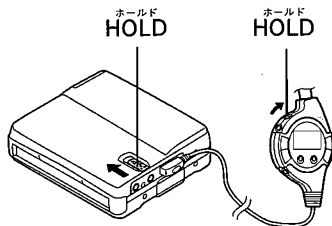
- 完全に消費すると、^{バッテリー エンプティ}「BATT EMPTY」(本体)「Lo BATT」(リモコン)が表示されたあと、電源が自動的に切れま

- 付属のACアダプターや別売のカーバッテリーアダプターで使用するときは、電池残量表示は消灯しています。
- 動作内容によって目盛りが増減することがありますが、異常ではありません。
- 充電電池と乾電池を併用しているときは、まず充電電池を使用し、そのあと乾電池を使用します。電池残量表示は、使用している側の残量を表示するため、切り換え時に目盛りが増えます。

誤って動作するのを防ぐ

混雑した電車内などで、誤って操作ボタンが押されても、現在の状態が変わらないようにすることができます。

ホールド
HOLDスイッチを矢印の方向に
ずらす。



- 解除するときには、矢印と反対の方向にずらします。

	リモコン	本体
リモコンでも本体でも操作できるようにする	ホールド解除	ホールド解除
リモコンだけで操作できるようにする	ホールド解除	ホールド
本体だけで操作できるようにする	ホールド	ホールド解除
リモコンでも本体でも操作できなくする	ホールド	ホールド

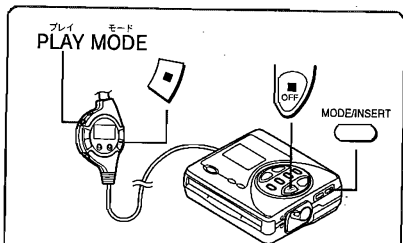
持ち運ぶときにも便利

電源を切った状態でホールド機能を動かしておけば、誤って電源が入ることがなく、電池の消耗を防ぐことができます。(オートプレイは働きます。)

こんなときは

ボタンを押したときの確認音を消す

ボタンを押したときの“ビッ”という音を鳴らさないようにすることができます。



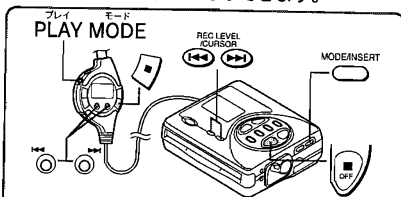
- 1 停止中に…
セット アップ
「SET UP」が表示されるまで
PLAY MODEまたは **MODE/INSERT**
 を押す。
 ●指を離すと、「BEEP 1 (BEEP ON)」が表示されます。

- 2 **PLAY MODE**または **MODE/INSERT**
 を押す。
 「BEEP 0 (BEEP OFF)」が表示され、確認音が消えます。
 ●確認音を鳴らすときは、「BEEP 1 (BEEP ON)」を表示させます。

- 3 **■(OFF)**を押す。
 通常表示に戻ります。

表示部のバックライトを消す

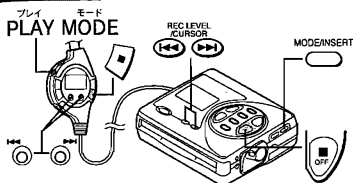
暗い所でも表示が見えるように、各ボタンを操作すると照明がつきます。(約4秒間)この照明が点灯しないようにすることができます。



- 1 停止中に…
セット アップ
「SET UP」が表示されるまで
PLAY MODEまたは **MODE/INSERT**
 を押す。
 ●指を離すと、「BEEP 1 (BEEP ON)」または「BEEP 0 (BEEP OFF)」が表示されます。
- 2 **「EL on (EL ON)」**が表示されるまで **◀◀**または **▶▶**
 を押す。
- 3 **PLAY MODE**または **MODE/INSERT**
 を押す。
 「EL off (EL OFF)」が表示され、バックライトが消えます。
 ●バックライトをつけるときは、「EL on (EL ON)」を表示させます。
- 4 **■(OFF)**を押す。
 通常表示に戻ります。

オートプレイを解除する

MDを入れると自動的に電源が入り、再生が始まります。再生が自動的に始まらないようにすることができます。



- 1 停止中に…
セット アップ
「SET UP」が表示されるまで
PLAY MODE または **MODE/INSERT**

を押す。

- 指を離すと、「BEEP 1 (BEEP ON)」または「BEEP 0 (BEEP OFF)」が表示されます。

- 2 オート プレイ オート プレイ オン
「auto PL (A-PLAY ON)」が表示されるまで
◀◀ または **▶▶** を押す。

- 3 **PLAY MODE** または **MODE/INSERT** を押す。

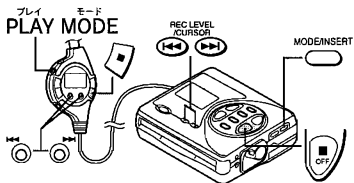
プレイ オフ オート プレイ オフ
「PL off (A-PLAY OFF)」が表示され、オートプレイが解除されます。

- オートプレイにするときは、オート プレイ オート プレイ オン
「auto PL (A-PLAY ON)」を表示させます。

- 4 **■(OFF)**を押す。
 通常表示に戻ります。

オートパワーセーブを解除する

メモリーの蓄積時間を調整することにより、消費電力を節約しています。節約機能を解除することができます。



- 1 停止中に…
セット アップ
「SET UP」が表示されるまで
PLAY MODE または **MODE/INSERT**

を押す。

- 指を離すと、「BEEP 1 (BEEP ON)」または「BEEP 0 (BEEP OFF)」が表示されます。

- 2 オートパワーセーブ オート パワーセーブ
「auto PS (AUTO Psave)」が表示されるまで **◀◀** または **▶▶** を押す。

- 3 **PLAY MODE** または **MODE/INSERT** を押す。

パワーセーブオフ パワーセーブ オフ
「PS off (Psave off)」が表示され、オートパワーセーブが解除されます。

- オートパワーセーブにするときは、オートパワーセーブ オート パワーセーブ
「auto PS (AUTO Psave)」を表示させます。

- 4 **■(OFF)**を押す。
 通常表示に戻ります。

この製品の音とびガードメモリーについて

再生中は半導体メモリーに最大約10秒間の情報を蓄積します。このため、外部からの衝撃によりピックアップが情報を一時的に読み取れなくなっても、蓄積した情報を送ることによって音が途切れることなく再生することができます。

オートパワーセーブ機能について

充電池や乾電池で使用するときの消費電力を少なくするための機能です。オートパワーセーブ時は音楽の情報蓄積時間が5~10秒になります。振動の多い場所では、オートパワーセーブを解除してお使いください。情報蓄積時間が常に10秒になります。(ACアダプター、カーバッテリーアダプター使用時は、オートパワーセーブモードに関係なく、常に情報蓄積時間が10秒になります。)

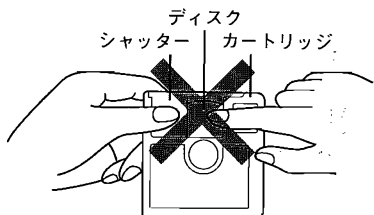
MDについて

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ホコリ・キズ・指紋などがつきにくく手軽に取り扱えます。

●ただし、カートリッジのすき間から入る砂ホコリやカートリッジのよごれなどが誤動作の原因になることもありますので、次のことに注意してください。

取り扱いについて

■ディスクに直接触れないで！



- シャッターを開けて、ディスクに直接触れないでください。
- シャッターは無理に開けるとこわれます。

■MDは絶対に分解しないでください。

保管場所のご注意

- 必ず専用ケースに入れて保管してください。
- 次のような所に置かないでください。
 - － 直射日光が長時間あたる場所（特に密閉した自動車内等）
 - － 温度や湿度の高い所
 - － カートリッジの中に砂やホコリが入りやすい場所（海辺や砂地等）

ラベルを貼り付けるときのお願い

MDカートリッジにラベルを貼り付けるときは、必ず次のことをお守りください。正しく貼り付けないと、MDが内部つまって取り出せなくなることがあります。

- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用してください。
- ラベルを重ねて貼り付けないでください。
- ラベルは指定の場所（エリア内）に正しく貼ってください。（指定エリア以外には貼り付けないでください。）



お手入れ

カートリッジ表面にホコリやゴミなどがついたときは、乾いた布でふき取ってください。

充電機について

- リチウムイオン充電機は、使用しなくても最低3か月に1回は充電してください。
- 充電機は約300回充電することができます。
- フル充電しても使用時間が半分ぐらいになったり、充電できないときは、電池を新しいものと交換してください。（専用の充電機を使用してください。）
- 充電が完了したあと、そのまま充電状態にしても差つかえありません。（夜間を利用しての充電など）
- 寒い所では使用時間が短くなります。
- この製品や充電機の充電端子に異物（金属など）をはさんだり、汚さないでください。充電端子が汚れていると、使用時間が短くなったり、充電できないことがあります。
- 充電後や使用后、充電機が暖かくなることがあります。異常ではありません。

「故障」かな？と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、57ページの「保証とアフターサービス」をごらんのうえ修理を依頼してください。

こんなとき

ここをおたしかめください

電源が入らない

- ACアダプターがはずれていませんか。 ☎P.11
- 電池が消耗していませんか。 ☎P.10
- 誤動作防止状態になっていませんか。 ☎P.45
- 「つゆつき現象」がおきていませんか。 ☎P.50
- 衝撃や静電気などの影響を受けていませんか。 ☎P.50

音が聞こえない

- 音量が最小になっていませんか。 ☎P.28
- リモコンやヘッドホンがはずれていませんか。 ☎P.28
- 音楽用MD以外のMDデータディスクを再生していませんか。

操作ボタンを押しても 操作ができない

- 誤動作防止状態になっていませんか。 ☎P.45
- 電池が消耗していませんか。 ☎P.10
- リモコンやヘッドホンがはずれていませんか。 ☎P.28

音がとぎれる

- 電池が消耗していませんか。 ☎P.10
- 振動が多い場所で使用していませんか。

MDが取り出せない

- 曲番や文字情報などの書き込み中ではありませんか
（“TOC EDIT”表示）。 ☎P.27
- 録音中または編集中ではありませんか。

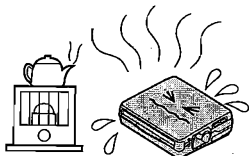
録音や編集ができない

- MDが誤消去防止状態になっていませんか。 ☎P.13
- 他の機器と正しく接続されていますか。 ☎P.12
- 録音中または編集中に、ACアダプターがはずれたり停電になっていませんか。
- 誤動作防止状態になっていませんか。 ☎P.45

-
- この製品をテレビ、スピーカーなど磁気の帯びたものの近くで使用したり、放置しないでください。故障の原因となります。
 - ラジオやテレビに雑音や映像の乱れが生じるときは、この製品を離してください。

つゆつき現象について

次のような場合には、内部のレンズやディスクにつゆ（水滴）がつくことがあります。



- 暖房をつけた直後
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき
- 冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき

■ つゆがつくと

ディスクの信号が読み取れず、この製品が正常な動作をしないことがあります。

■ つゆを取るには

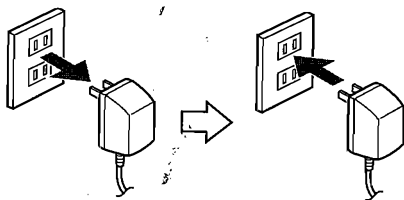
MDを取り出して約1時間くらい置いておけば、つゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

異常が起きたら

この製品を使用中に、衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常などを受けた場合や、誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。

このようなときには、次のようにしてください。

- ① ACアダプターをコンセントからはずす。
- ② 電池をはずす。
- ③ 約30秒間そのままにしておく。
- ④ ACアダプターをコンセントにつないで操作する。



録音中に停電すると

録音中（^{トック}TOC情報が書き込まれていない状態）にコンセントが抜けたり停電があると、そのときの録音内容は消えてしまいます。

- すでに^{トック}TOC情報が書き込まれているMDに追加して録音した場合は、追加した部分の記録が消えてしまいます。

^{トック}TOC P.27

MDのシステム上の制約

MDは従来のカセットテープやDATとは異なる方式で録音されます。そのため、録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがあります。これらは、システム上の制約によるものであり、故障ではありません。

こんなとき

このような制約があります

- MDの最大録音時間に満たなくてもディスク^{ディスク}フル^{フル} “DISC FULL” または “TOC^{トラック} FULL” が表示されることがある

録音時間に関係なく、曲数が最大（254曲）になると録音できなくなります。また、録音編集をくり返したMDやMDにキズがある場合は、上記未満でも録音できないことがあります。

- 曲数や録音時間が最大に満たなくてもディスク^{ディスク}フル^{フル} “DISC FULL” が表示されることがある

ディスクにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。

- 短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある

MDの録音残り時間を表示するとき、8秒以下の短い曲などは曲として数えられないことがあります。

- MDに録音した時間と残りの時間の合計が最大録音時間と一致しないことがある

通常は、1クラスタ（約2秒）を録音の最小単位としていますが、これに満たない曲でも約2秒のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。また、MDにキズなどがあると、その部分は自動的に録音不可となるため録音時間が少なくなります。

- 編集で曲と曲とをつなげないことがある

録音・編集をくり返して行ったMDでは、コンバイン機能を使えないことがあります。

- 録音された曲を早戻し／早送りすると、音がとぎれる

録音・編集をくり返して行ったMDでは、早戻し／早送り中に音がとぎれます。

- 曲の途中で曲番がつくことがある

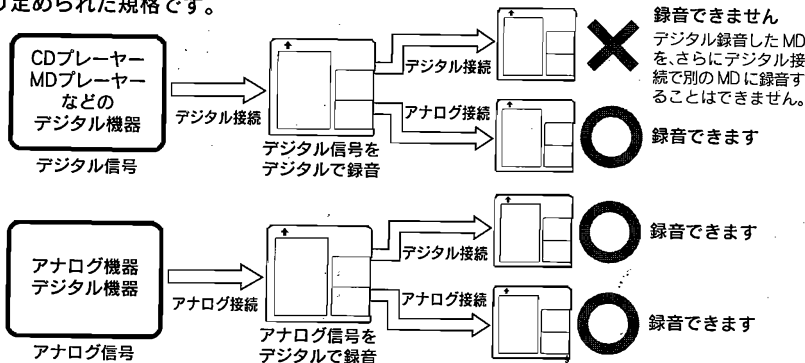
録音するMDにゴミやキズがあると、曲番がつくことがあります。

.....
こんなときは、デジタル入力で録音できません

- デジタル録音したMDを、さらにデジタル入力で他のディスクに録音しようとしたとき

デジタルコピーに関するご注意

デジタル入力で録音したMDを、さらに別のMDやDATなどにデジタル録音（コピー）することはできません。これは、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により定められた規格です。



こんな表示がでたときは

表示

意味

このようにしてください

バッテリー エンプティ
BATT EMPTY

● 充電電池や乾電池の残量がなくなった

☞ P.45

● 充電または乾電池を交換する (ACアダプターを使う)

ブランク ディスク
BLANK DISC

● 音楽や文字情報が記録されていない

● 再生するときは、録音されたMDと取り換える

キャント コピー
Can't COPY

● コピー禁止のものから録音しようとした

● 付属の接続ケーブルを使ってアナログ入力で録音する

キャント エディット
Can't EDIT

● 編集できない

● 曲の停止位置を変えて編集してみる

キャント レコード
Can't REC

● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった

● 録音をやり直すか、他の録音用MDと取り換える

キャント ライト
Can't WRITE

● スタンプできない

● 曲数を確かめる

ディフェクト
DEFECT

● ディスクにキズがある

● 再生した音が異常であれば録音をやり直す
● 他の録音用MDと取り換える

デジタルインアンロック
Din UNLOCK

● デジタルケーブルの接続不良

☞ P.17

● デジタルケーブルをしっかりと接続する

● 再生する機器から出力信号が出ていない

● 音とびを防ぐ機能がついているポータブルCDプレーヤーでは、そのスイッチを「切」にする

表示	意味	このようにしてください
ディスク エラー DISC ERROR	●ディスクにキズがついている	●MDをもう一度入れ直す ●他のMDと取り換える
ディスク フル DISC FULL	●MDに録音できる空きがない	●他の録音用MDと取り換える
ホールド HOLD	●本体が誤動作防止状態になっている P.45	●HOLDスイッチをもとに戻す
ロックド LOCKED	●録音中、または編集中にMDを	●電源を切ってからMDを取り出す
ロック エラー LOCK ERROR	取り出そうとした	
ノー ディスク NO DISC	●MDが入っていない	●MDを入れる
パワー ? POWER ?	●専用以外の電源を使用している	●専用の電源を使用する
プレイバック ディスク PB DISC	●MDが誤消去防止状態になっている	●誤消去防止状態をもとに戻す
プロテクト PROTECTED	●再生専用MDに録音や編集をしようとした P.13	●録音用MDと取り換える
ソリー SORRY	●曲番を検索中または書き込み中のため操作できない	●少し待つて操作する
システム エラー SYSTEM ERR	●自己診断により故障と判断した	●お買いあげの販売店に修理をお申しつけください
テンプ オーバー TEMP OVER	●温度が高くなりすぎた	●電源を切ってしばらく休ませる
トック エラー※ TOC ERROR※ (※は数字や記号)	●ディスクに大きなキズがある	●他のMDと取り換える
トック フル TOC FULL	●文字情報（ディスク名/曲名など）を記録する空きがない	●他の録音用MDと取り換える
トラック プロテクト Tr. Protect	●曲が消去防止状態になっている	●曲を録音した機器で編集する
ユートック エラー U TOC ERROR	●ディスクに大きなキズがある ●記録した信号に異常がある	●他のMDと取り換える ●停止中に [EDIT/AUTO MARK] を2秒以上押してオールイレースをし、録音をやり直す
ディスク ? DISC	●音楽以外（データなど）が入ったMDを再生した ●記録した信号に異常がある	●データなどが入ったMDは再生できません ●他のMDと取り換える

参考にしてください

お手入れについて

汚れたときは



やわらかい布で軽くふきます。

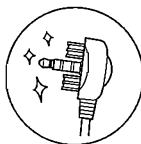
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

乾電池ケースの接続端子をきれいに

定期的に綿棒で空拭きしてください。

(水やアルコールは絶対に使わないでください。)

プラグはいつもきれいに



プラグが汚れていると、雑音の原因になります。

- 薬品類（ベンジン・シンナーなど）は使わないでください。変質・変色することがあります。
- 油をささないでください。故障の原因となります。

音楽著作権について

- あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- この商品（デジタル録音機器）には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人 私的録音補償金管理協会

〒163-14

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号

東京オペラシティタワー11F

東京オペラシティ郵便局 私書箱2583号

電話 (03) 5353-0336 (代表)

FAX (03) 5353-0337

仕様

仕様変更などにより、内容が一部異なることがあります。ご了承ください。

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム		
録音方式	磁界変調オーバーライト方式		
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式（半導体レーザー使用）		
回転数	約400~900rpm		
エラー訂正方式	アドバンスド クロス インターリーブ リードソロモンコード (ACIRC)		
音声圧縮伸長方式	ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding) 24ビット演算方式		
チャンネル数	ステレオ2チャンネル/モノラル（長時間モード）1チャンネル		
サンプリング周波数	44.1kHz（32kHz、48kHzは、44.1kHz に変換して録音）		
周波数特性	20~20,000Hz（±3dB）		
ワウ・フラッター	測定限界（±0.001%W.PEAK）以下		
入力端子	ライン/光デジタル兼用、マイク（プラグインパワー対応）		
出力端子	ヘッドホン（インピーダンス16Ω）/リモコン端子兼用		
入力感度	録音レベル	基準入力レベル	入力インピーダンス
	MIC H	0.25mV	10kΩ
	MIC L	2.5mV	10kΩ
	LINE	100mV	20kΩ

出力レベル		規定出力	最大出力レベル	負荷インピーダンス
	ヘッドホン	—	10mW+ 10mW	16Ω
	LINE	300mV(-12dB時)	—	50kΩ

電源	DC 3.6V : 付属リチウムイオン充電電池 (NB-L10) x 1, 600mAh
	DC 3V : 付属乾電池ケース (市販単3形アルカリ乾電池 x2) NB-L10A 800mAh
	DC 4.0V : 別売カーバッテリーアダプター (DC-C50)
	DC 5V : 付属ACアダプター (100V AC、50/60Hz)





電池持続時間	付属充電電池 (フル充電) 使用時 NB-L10	市販高容量単3形アルカリ乾電池2本使用 (付属乾電池ケース使用時)	市販高容量単3形アルカリ乾電池2本使用 + 付属充電電池 (フル充電) 使用時
	連続録音 約3.5時間 連続再生 約5時間	連続録音 約4時間 連続再生 約8時間	連続録音 約7.5時間 連続再生 約13時間

- 連続録音時間、アナログ入力で音量レベル "VOL 0" 時。
- 連続再生時間、音量レベル "VOL 15" 時。
- 周囲温度20℃にて充電/連続使用したときの標準値です。
- 乾電池のメーカーや種類、使用環境温度によって、使用時間は異なります。

充電時間	約2.5時間（付属ACアダプター使用時）
外形寸法	87.0（幅）x 29.4（高さ）x 81.5（奥行）mm
質量	約218g（充電電池含む）

参考にしてください

ステレオなどにつないで使うときに

光デジタルケーブル	OPC-300 (角形  — 丸形  端子用)
光デジタルケーブル	OPC-500 (丸形  — 丸形  端子用)

車の中で使うときに

カーバッテリーアダプター	DC-C50
カーカセットアダプター	CAC-2

録音するときに

ステレオマイクホン	MC-R1 (プラグインパワー方式)
-----------	--------------------

保証とアフターサービス よくお読みください

- 1.保証書**—この製品には保証書がついています。
これは、保証期間中にもし故障が生じた場合、この保証書をご提示いただくと記載内容により無料修理をお約束する大切な証書です。
製品をお買上げの際、販売店が所定事項を記入してお渡しいたしますので忘れずにお受け取りください。
 - 1) 記入事項をお確かめください。
販売店が所定事項を記入してからお渡しいたします。記入がないと有料修理になる場合がありますのでお受け取りの際は販売店記入欄をお確かめください。
 - 2) 保証書は大切に保管してください。
保証書は万一の不具合発生のおき、すぐ取り出せるように取扱説明書と同様に身近な場所に保管してください。
- 2.保証期間**—お買上げの日より**1年間**です。
正常なご使用状態でこの期間内に万一故障を生じた場合には、保証書の記載内容により無料修理いたします。(なお落下による破損、故障など、および乾電池、充電電池などの消耗品は、保証期間内でも有料となります。)
- 3.保証期間経過後の修理**については、お買上げの販売店またはケンウッドの営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 4.補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年間**です。この期間は、通産省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 5.アフターサービス**についてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドの営業所に、ご遠慮なくご相談ください。
- 6.本機に添付の保証書は、日本国内においてのみ有効**です。
This warranty is valid only in Japan.

修理料金のしくみ (有料修理の場合、これらの費用が必要です。)

技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。

部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ケンウッドの音響製品は精密な部分が多いため、計測器による緻密な修理、調整を行うことが理想です。ケンウッド製品を最良の状態でご使用して頂くために、ご面倒でも購入店または最寄りの、ケンウッド営業所、サービスセンターへ出来るだけお持ち込みくださることをおすすめします。また修理を迅速、確実にするため次の点をはつきりご連絡くださいますようお願い致します。

●修理を依頼されるとき

1. お名前
2. ご住所
～コーポ、マンション～号室等住所は最後まではつきりと!!
3. 電話番号
ご自宅、勤務先、呼出しの区分をして!!
4. 機種名(型名)

5. 購入年月日

保証書の有無(保証期間中の場合は、必ず保証書を添えてください。)

6. 故障状況はできるだけ詳しく説明してください。

(1)複雑な故障については、用紙に詳細を書いたかとより確実です。

(2)時々起こるといふ故障状況については、はっきりとその旨おっしゃってください。

7. 本機のサービスを依頼されるときは、製品保護のため、必ず何かに包んでお渡ししてください。

※包装材は、アフターサービスや引っ越しの際に、大切な機器を保護するためにご利用ください。

●気軽にご相談ください

愛機をベストコンディションでお使いいただくために、お分かりにならないことなどがありましたら、お気軽にご相談ください。

ご自分で修理はしないでください。

ご自分で修理することは大変危険です。

付属品なども一緒にお持ちください。

修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体、リモコン、ヘッドホン、ACアダプターなども一緒にお持ちください。いずれかだけですと、故障の内容によっては修理および検査ができないことがあります。

ケンウッド全国サービス網住所録

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッド営業所、サービスセンター、サービスステーションへお申しつけください。

北海道

札幌サービスセンター	札幌市東区北34条東14丁目1-23	☎007-0834 ☎(011) 743-7740
帯広サービスステーション	帯広市西22条南3-32-6	☎080-2472 ☎(0155) 33-0611
旭川営業所・サービスステーション	旭川市豊岡五条7-35-1316	☎078-8235 ☎(0166) 32-4411

東北

仙台サービスセンター	仙台市若林区大和町5-32-12 (サンライズ大和)	☎984-0042 ☎(022) 284-1171
青森営業所・サービスステーション	青森市勝田1-19-4	☎030-0821 ☎(0177) 35-3431
盛岡営業所・サービスステーション	盛岡市厨川4-5-11	☎020-0124 ☎(019) 646-2311
郡山営業所・サービスステーション	郡山市安積3-257	☎963-0107 ☎(0249) 45-4721
山形サービスステーション	山形市松波1-15-24	☎990-0023 ☎(023) 623-7441
秋田サービスステーション	秋田市千秋矢留町9-14	☎010-0877 ☎(0188) 36-0131

関東・甲信越

高崎サービスステーション	高崎市緑町2-9-1	☎370-0073 ☎(027) 362-6211
水戸営業所・サービスステーション	水戸市河和田3-2422-1	☎311-4152 ☎(029) 253-6711
宇都宮営業所・サービスステーション	宇都宮市今泉町1639-3	☎321-0962 ☎(028) 638-3161
新潟サービスステーション	新潟市姥ヶ山1-5-37	☎950-0923 ☎(025) 287-7736
松本営業所・サービスステーション	松本市南松本2-7-30(昭和ビル3F)	☎390-0832 ☎(0263) 26-7331
足利営業所・サービスステーション	足利市田中町351-1	☎326-0822 ☎(0284) 73-2181

参考にしてください

大宮サービスセンター	大宮市本郷町258-1	☎330-0033 ☎(048) 664-3611
東京サービスセンター	目黒区青葉台3-17-9	☎153-0042 ☎(03) 3477-5411
立川サービスステーション	立川市曙町1-22-25(アバクス立川1F)	☎190-0012 ☎(042) 523-2151
千葉サービスセンター	千葉市美浜区中瀬2-6 (ワールドビジネスガーデン マリブイスト17F)	☎261-7117 ☎(043) 297-2311
柏営業所・サービスステーション	柏市富里1-2-1	☎277-0081 ☎(0471) 63-1441
横浜サービスステーション	横浜市神奈川区西神奈川1-5-2 (ナイス アーバン東神奈川1F)	☎221-0822 ☎(045) 312-4481
神奈川中央サービスステーション	座間市広野台2-5032	☎228-0012 ☎(0462) 56-9681

中部

名古屋サービスセンター	名古屋市長区辻本通1-11	☎462-0861 ☎(052) 917-2550
四日市営業所・サービスステーション	四日市市新正4-15-10	☎510-0064 ☎(0593) 52-3133
静岡営業所・サービスステーション	静岡市峯谷5-61-1	☎420-0816 ☎(054) 262-7611
金沢サービスセンター	金沢市南新保町ト-44	☎920-0064 ☎(076) 265-5045
岡崎サービスステーション	岡崎市欠町清水田20-25	☎444-0011 ☎(0564) 23-2686

近畿

大阪サービスセンター	大阪市都島区東野田町1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル3F)	☎534-0024 ☎(06) 352-1055
京都営業所・サービスステーション	京都市伏見区治部町56-1	☎612-8374 ☎(075) 603-7750
神戸サービスステーション	神戸市中央区海岸通2-2-3 (サンエービルディング東館4F)	☎650-0024 ☎(078) 333-1743

中国・四国

広島サービスセンター	広島市西区横川新町14-12(第三山本ビル)	☎733-0013 ☎(082) 293-0310
徳山サービスステーション	徳山市岡田町212	☎745-0066 ☎(0834) 31-1311
岡山営業所・サービスステーション	岡山市西市308-6	☎700-0953 ☎(086) 241-4400
高松営業所・サービスセンター	高松市松島町3-1	☎760-0068 ☎(087) 835-2411
松山営業所・サービスステーション	松山市山越4-11-2	☎791-8013 ☎(089) 925-5760

九州

福岡サービスセンター	福岡市南区向野2-8-18	☎815-0035 ☎(092) 551-9755
北九州営業所・サービスステーション	北九州市小倉北区熊本1-12-25	☎802-0044 ☎(093) 921-2771
熊本営業所・サービスステーション	熊本市健軍本町29-3	☎862-0910 ☎(096) 368-4161
大分サービスステーション	大分市萩原2-9-18	☎870-0921 ☎(0975) 53-3207
宮崎サービスステーション	宮崎市旭1-6-30(サニービル2F)	☎880-0803 ☎(0985) 26-1161
鹿児島サービスステーション	鹿児島市下荒田2-20-1	☎890-0056 ☎(099) 251-6347
沖縄営業所・サービスステーション	宜野湾市宇地泊89	☎901-2227 ☎(098) 898-2255

(上記サービスセンター及び各営業所の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。)

お客様相談室(東京)	東京都目黒区青葉台3-17-9	☎153-0042 ☎(03) 3477-5335
お客様相談室(大阪)	大阪市都島区東野田町1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)	☎534-0024 ☎(06) 357-5335

各部のなまえ

本体

ディスプレイ

DISP ボタン【21,32,39】
(表示/小文字)

+ - ボタン【28,38】
(音量調整/文字選択)

レコーディング

RECORDING ボタン【14,22】
(録音/トラックマーク)

◀ ▶ ボタン【14,30,38】
(早戻し/早送り/録音レベル調整
/カーソル移動)

エンター/シンクロ/ファーストプレイ

ENTER/SYNC/F.PLAY ボタン
(操作の実行/シンクロ録音/早聞き)
【14,24,33】

エディット/オートマーク

EDIT/AUTO MARK ボタン
(編集機能の選択/オートマーク/タイムマーク)
【20,22,36】

キャラクター

CHARACTER ボタン【39】
(カナ/英数/記号)

■(OFF) ボタン【10,15,29】
(停止/電源切/充電開始)

▶|| ボタン【16,28】
(再生/一時停止)

モード/インサート

MODE/INSERT ボタン
(モード/スペース)
【21,31,41,46】

バス/アリート

BASS/DELETE ボタン
(重低音/消去)
【28,41】

イジェクト

EJECTつまみ【15】
(MD取り出し)

ホールド
HOLDスイッチ【45】

マイクイン
MIC IN端子【18】

オプティカル ライン イン
OPTICAL/LINE IN端子【14,17】
(光/ライン入力)

Ⓜ端子【28】
(ヘッドホン出力)

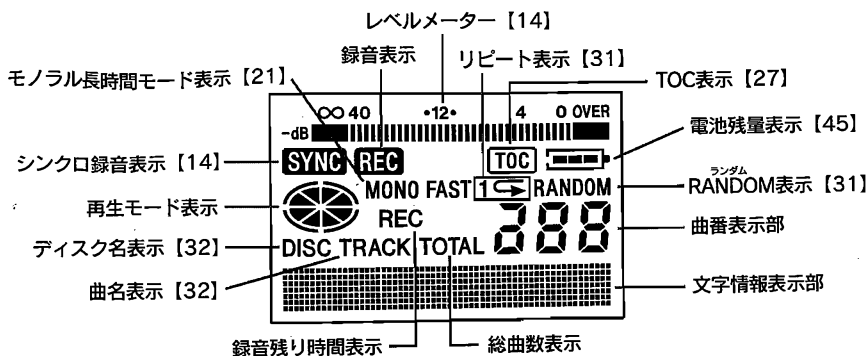
充電電池ボタン【10】

乾電池ケース接続端子【11】

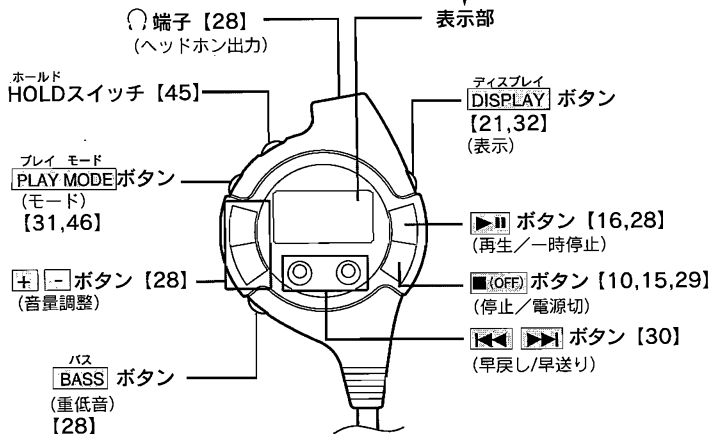
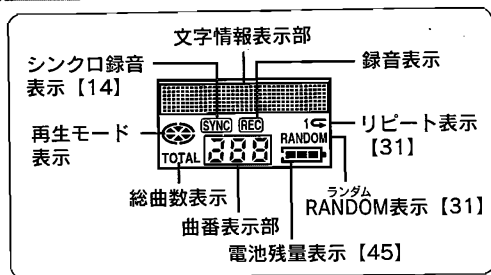
DC IN 5V端子【10】

- () 内はおもな機能を、【 】はおもに説明しているページを表わしています。
- は、本書の操作説明で使用するボタン名を表わしています。

本体表示部



リモコン



参考にしてください

■英字

ACアダプター 10、11
 MD
 MDを入れる 14、28
 MDを取り出す 15、29
 再生専用MD 13
 録音・再生用MD 13
 SCMS (シリアル コピー
 マネージメントシステム) 52
 TOC (Table of contents) 27

■あ

頭出し再生 30
 アナログ録音 12
 移動する (ムーブ) 35
 オートパワーセーブ 47
 オートプレイ 29、47
 オートマーク 26
 音とびガードメモリー 47
 音量調整 28

■か

カーソル 38
 聞く
 他の機器で聞く 44
 曲番
 曲番について 26
 録音中に曲番をつける 22
 曲名 (トラックネーム)
 曲名をつける 40
 曲名を表示する 32
 消す
 1曲ずつ曲を消す (イレース) 24
 すべての曲を消す (オールイレース) 25
 誤除去防止 13
 誤動作防止 45

■さ

サンプリングレートコンバーター 17
 シンクロマーク 26
 シンクロ録音 14
 接続 14、17、18、44
 操作音 46

■た

タイムオートマーク 20
 つなぐ
 他の機器とつなぐ 44
 曲と曲をつなぐ (コンバイン) 37
 つゆつき (現象) 50
 低音調整 28
 ディスク名 (ディスクネーム)
 ディスク名をつける 38
 ディスク名を表示する 32
 デジタルケーブル 17
 デジタル録音 12
 電池
 乾電池を入れる 11
 充電電池を入れる 10
 電池残量 45

■な

2倍速早聞き再生 33
 残り時間 21、32

■は

早送り/早戻し 31
 ヘッドホン 28
 別売品 56

■ま

マニュアル録音 16
 マイク 18
 マイクシンクロ録音 18
 マイクマニュアル録音 19
 文字情報スタンプ 42
 文字の種類 39
 モノラル長時間モード 21

■ら

ランダム再生 31
 リピート再生 31
 録音レベル 14、18

■わ

分ける
 曲を分ける (デバイド) 36



KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室 (東京) 電話(03) 3477-5335 〒153 東京都目黒区青葉台3-17-9
(大阪) 電話(06) 357-5335 〒534 大阪市都島区東野田町1-20-5(大阪京橋第一生命ビル)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。